FOOD MACHINES INTERNATIONAL

ベーカリーオーブン

UNOX®

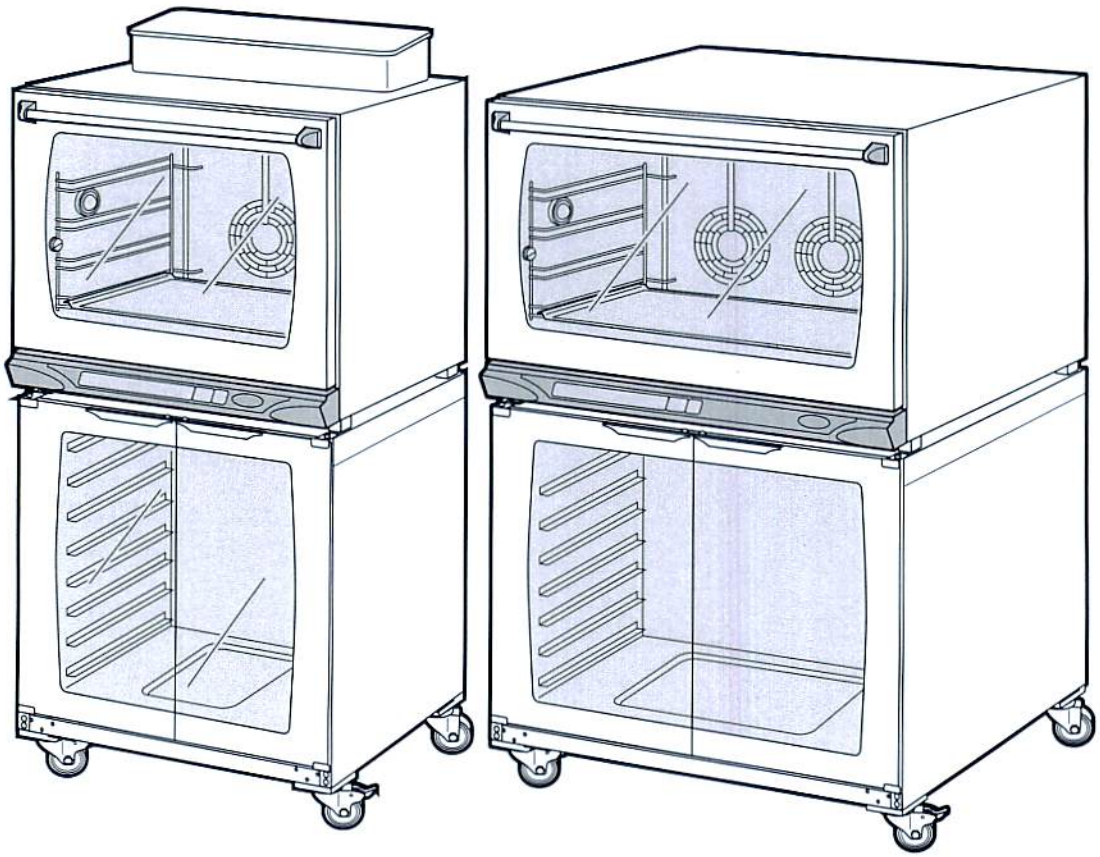
取 扱 説 明 書

据付け手順説明記載あり

型 式

ベーカリーオーブン：XF-135 / XF-195
ホ イ ロ 庫：XL-135 / XL-195

業務用



お客様用

- このたびは、当社のベーカリーオーブン/ホイロ庫(ウノックス)をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになられる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

もくじ

2 操作について …… 10

本機の焼成方法には、「手動でステップを設定し焼成をおこなう方法」と「登録したプログラムを呼び出して焼成する方法」の２種類があります。

手動でステップを設定し焼成をおこなう

ベーカリーオーブンの基本的な操作 …… 10
●始業 …… 10

水道栓を開ける(XF-195とホイロ庫)
▼
本機専用電源を「ON(入)」にする
▼
プリヒーティング(予熱)する

●動作を設定する …… 10

ステップを確認する
▼
「時間」を設定する
▼
「温度」を設定する
▼
「加湿」を設定する
▼
必要に応じて、ステップ2～3を設定する

●焼成を開始する …… 13

パン生地を庫内に入れる
▼
START/STOPキーを押す
▼
焼成が完了したら、パンを取り出す

●終業 …… 15

本機を清掃する
▼
本機専用電源を「OFF(切)」にする
▼
水道栓を閉める(XF-195とホイロ庫)

プログラムを登録(変更)する

プログラムの登録と変更 …… 16
●プログラムを登録するには …… 16

プログラム番号を選ぶ
▼
動作内容を設定して登録する

●プログラムを変更するには …… 17

プログラムを呼び出す
▼
動作内容を変更して再登録する

登録したプログラムを呼び出して焼成する

登録したプログラムを呼び出して焼成する ‥ 18
●始業 …… 18

水道栓を開ける(XF-195とホイロ庫)
▼
本機専用電源を「ON(入)」にする

●プログラムを呼び出す …… 18
●焼成を開始する …… 19

START/STOPキーを押す
▼
プリヒーティングが終わったら、
パン生地を庫内に入れる
▼
焼成が完了したら、パンを取り出す

●終業 …… 21

本機を清掃する
▼
本機専用電源を「OFF(切)」にする
▼
水道栓を閉める(XF-195とホイロ庫)

4 据付けかた …… 33

据付けの準備 …… 33
●レイアウトを決める …… 34
●据え付けスペースを確保する …… 35
据付け …… 36
●専用設置台の設置 …… 36
●ホイロ庫の設置 …… 36
●ベーカリーオーブンの設置 …… 37
配管 …… 37
●配管用付属品を確認する …… 37
●給水用の各配管を接続する(XF-135を除く) … 38
電気系統の配線 …… 40
●ホイロ庫のコントロールケーブルを接続する … 40
●電源・アースを接続する …… 41
XF-135の配管 …… 42
動作確認 …… 43
●ベーカリーオーブンの動作確認 …… 43
●ホイロ庫の動作確認 …… 44

本製品をお使いになる前に …… 2

安全上のご注意 …… 2
- ●火災や感電、ケガを防ぐための警告 …… 2
- ●移設や廃棄するときの警告 …… 3
- ●操作するときの注意 …… 4
- ●転売や譲渡するときの注意 …… 5

本製品をお使いになる前に

1 本機について …… 6

本機の特長 …… 6
- ●ベーカリーオーブン …… 6
- ●ホイロ庫 …… 6
- ●専用設置台 …… 6

各部のなまえ …… 7

操作パネル …… 8

① 本機について

ホイロ庫の操作

ホイロ庫の操作 …… 22
- ●始業 …… 22
- ●ホイロ庫の操作を設定する …… 22
- ●発酵を開始する …… 24
- ●終業 …… 25

② 操作について

3 清掃と点検について …… 26

ベーカリーオーブンの清掃 …… 26

ホイロ庫の清掃 …… 28

点検 …… 30

故障かなと思ったら …… 31

③ 清掃と点検について

④ 据付けかた

付録 …… 45

付属品 …… 45
- ●ベーカリーオーブンの付属品 …… 45
- ●ホイロ庫の付属品 …… 45

オプション …… 46
- ●天板 …… 46
- ●専用設置台 …… 46

別売品 …… 46

仕様 …… 47

エフ・エム・アイ商品保証書 …… 49

付録

本製品をお使いになる前に

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害※の発生が想定される内容を示します。

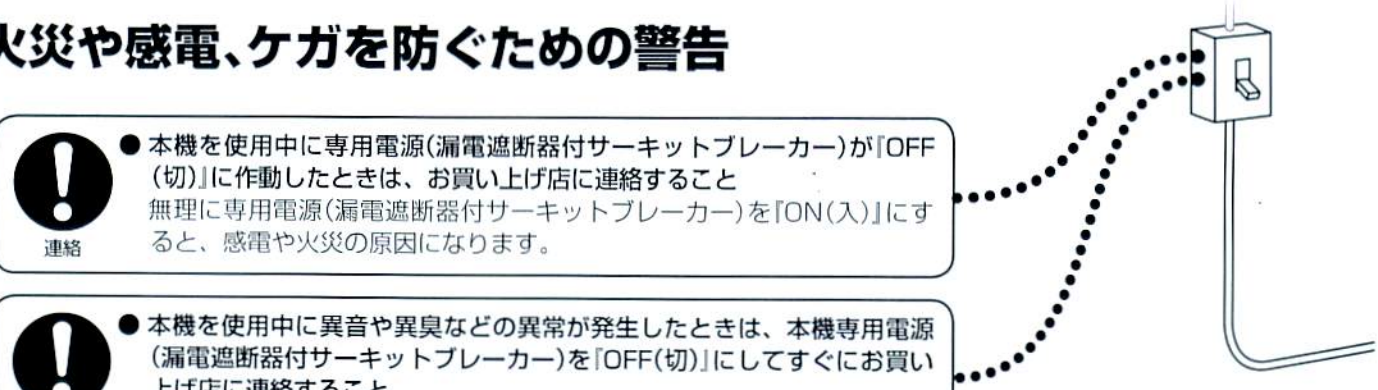
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	⃠は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令(強制)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠警告

●火災や感電、ケガを防ぐための警告



連絡

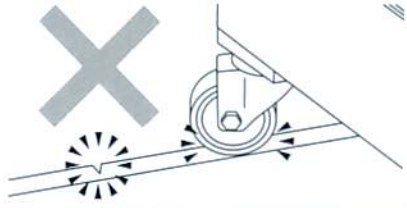
● 本機を使用中に専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)が『OFF(切)』に作動したときは、お買い上げ店に連絡すること
無理に専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。

専用電源切

● 本機を使用中に異音や異臭などの異常が発生したときは、本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を『OFF(切)』にしてすぐにお買い上げ店に連絡すること
異常のまま使用を続けると感電や火災の原因になります。

禁止

● 電源コードを傷つけないこと
加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



⚠警告

ガス栓閉

● ガス器具などからガスが漏れていたら、本機の使用を中止し、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること
ガスが漏れている状態で、本機を使用しますと、引火爆発する恐れがあります。

接触禁止

● 機械内部の電気装置や配線に触れないこと
やけどや感電の原因になります。

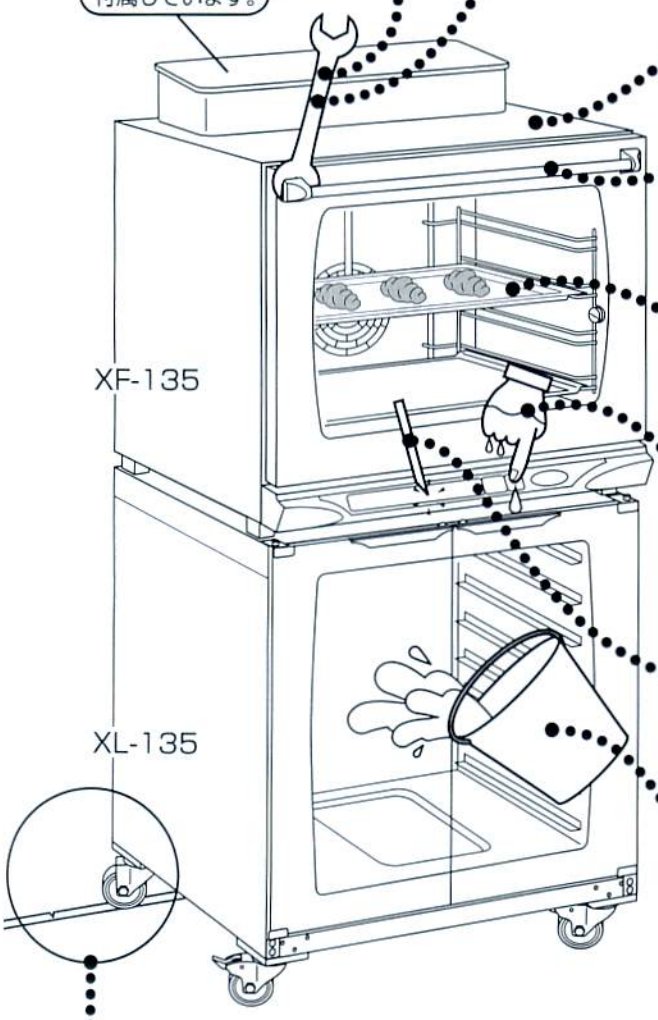
改造禁止

● 改造は絶対におこなわないこと
改造をされますと、水漏れ、感電や火災の原因になります。

分解禁止

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理をおこなわないこと
異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると、感電や火災の原因になります。

貯水タンクは、XF-135のみに付属しています。



接触禁止

● 焼成中または焼成完了直後は、本機の外側も高温になっているので、取手や操作パネル以外は触らないこと
やけどの原因になります。

高温

● 焼成後、扉を開けるときは、一気に開けずに徐々に開けること
一気に開けると、高温の蒸気や熱風が手前に飛び出し、やけどの原因になります。

素手禁止

● 天板の出し入れは、素手で取り扱わないこと
ケガややけどの原因になります。
(必ずお手持ちの耐熱手袋(ミトン)などをご使用ください。)

濡手禁止

● 濡れた手で操作パネルのキーを操作しないこと
感電や故障の原因になります。

禁止

● 操作パネルのキーは、先の尖った物で押さないこと
破損による感電や漏電の原因になります。

水掛禁止

● 庫内以外に直接水をかけないこと
電気配線や金属部分に水が掛かると、ショート、感電や錆などによる故障の原因になります。

●移設や廃棄するときの警告

専門業者

● 本機の移設は、専門の業者か、お買い上げ店に相談すること
据え付けに不備があると、水漏れ、感電や火災などの原因になります。

● 本機を廃棄するときは、専門の業者か、お買い上げ店に依頼すること
放置されますと、幼児などがケガをする原因になります。

⚠注意

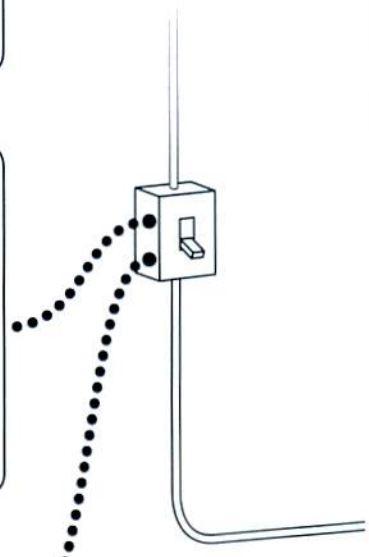
●操作するときの注意

可燃物禁止

● 本機を使用中に可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

禁止

● 本機の周辺にフライヤー、グリルなど発熱する機器は置かないこと
電気部品に負担がかかり、故障や火災の原因になります。



専用電源切

● 作業終了後は、本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を『OFF(切)』にすること
発熱や発火の原因になります。

● 運転中に停電になった場合は、本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を『OFF(切)』にすること
発熱や発火の原因になります。

● 本機を点検するときは、本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を『OFF(切)』にすること
感電したり、ケガの原因になることがあります。

動作確認

● 本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)は、月に1回、動作確認をすること
専用電源が故障のまま使用しますと、漏電発生時に作動せず、感電の原因になることがあります。

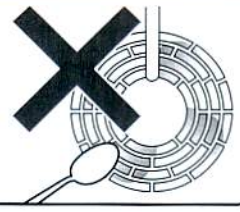
水道栓閉

● 作業終了後は、水道の元栓を閉めること
(XF-195、XL-135、XL-195の場合)
配管部分の破損などにより水漏れした場合、電気部品に水がかかり、感電や故障の原因になることがあります。

⚠注意

挿入禁止

● 庫内ファンが回転中は、ファンカバーの隙間から、箸やスプーンなどを入れないこと
ケガや故障の原因になります。



清掃

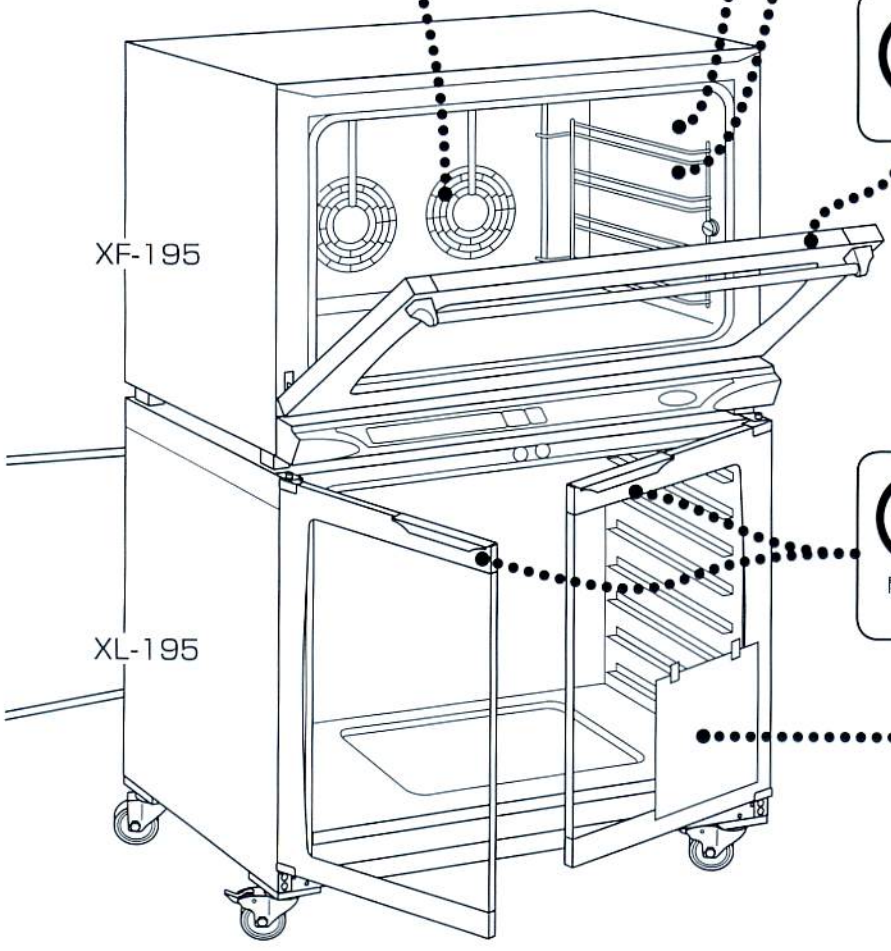
● 終業のときは、庫内を清掃すること
清掃しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

40℃以下

● 庫内温度が40℃以下になってから清掃すること
庫内が熱いうちに清掃すると、やけどや故障の原因になります。

禁止

● 扉にぶら下がったり、乗ったりしないこと
製品の転倒によるケガの原因や故障の原因になります。



開放禁止

● 作業終了後は、扉を開けたままにしないこと
- 開けたままにすると、ネズミや害虫などが入り込むことがあります。
- ケガをする原因になります。

●転売や譲渡するときの注意

テープ止め

● 本機を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ場所にテープ等で止めておくこと

1 本機について

本機の特長

本機は、パン生地を熱風と加湿により焼成する機械です。

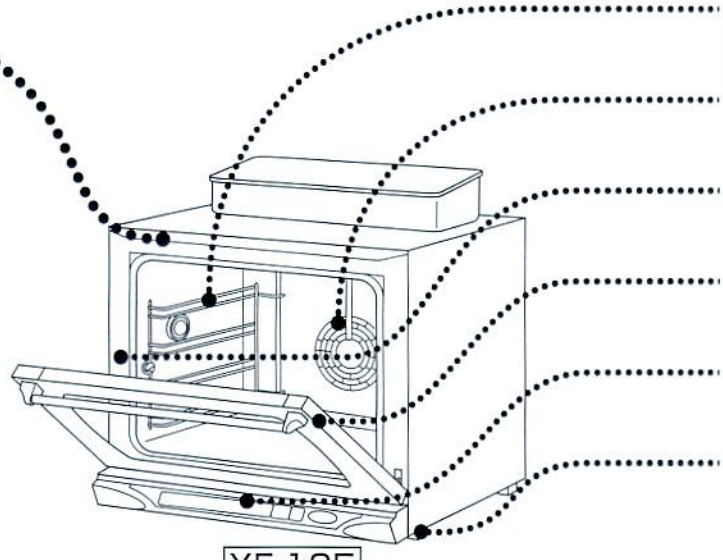
●ベーカリーオーブン

パン生地を熱風と加湿により焼成する機械です。

- 内部組織が均一に仕上がった、品質の高いパンに焼き上げます。

登録した焼成プログラムを呼び出すことでかんたんに焼成できます。

- 焼成プログラムは、最大70件まで登録でき、焼成の順番をステップ1 ～3までの3段階に分けて設定できます。



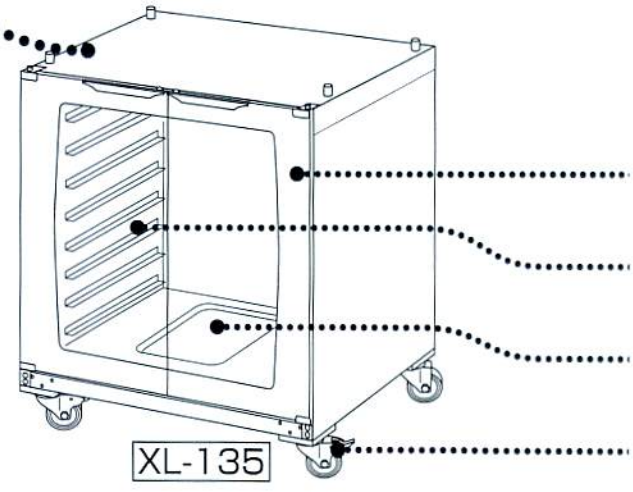
XF-135

●ホイロ庫

ベーカリーオーブンと連動させてパン生地を発酵させる機械です。

ベーカリーオーブンの操作パネル上で操作し、簡単に発酵ができます。

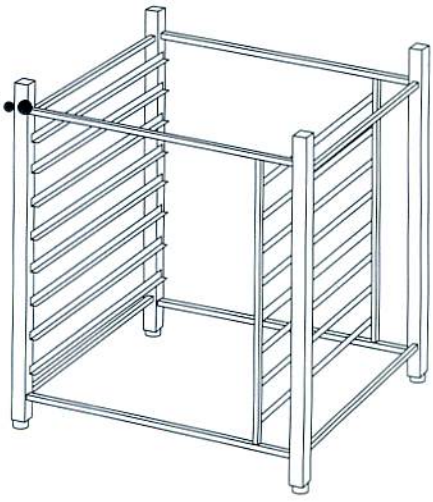
- ベーカリーオーブンの「オーブン/ホイロ庫切替キー」でホイロ庫とベーカリーオーブンで同時に分割して焼成・発酵ができます。



XL-135

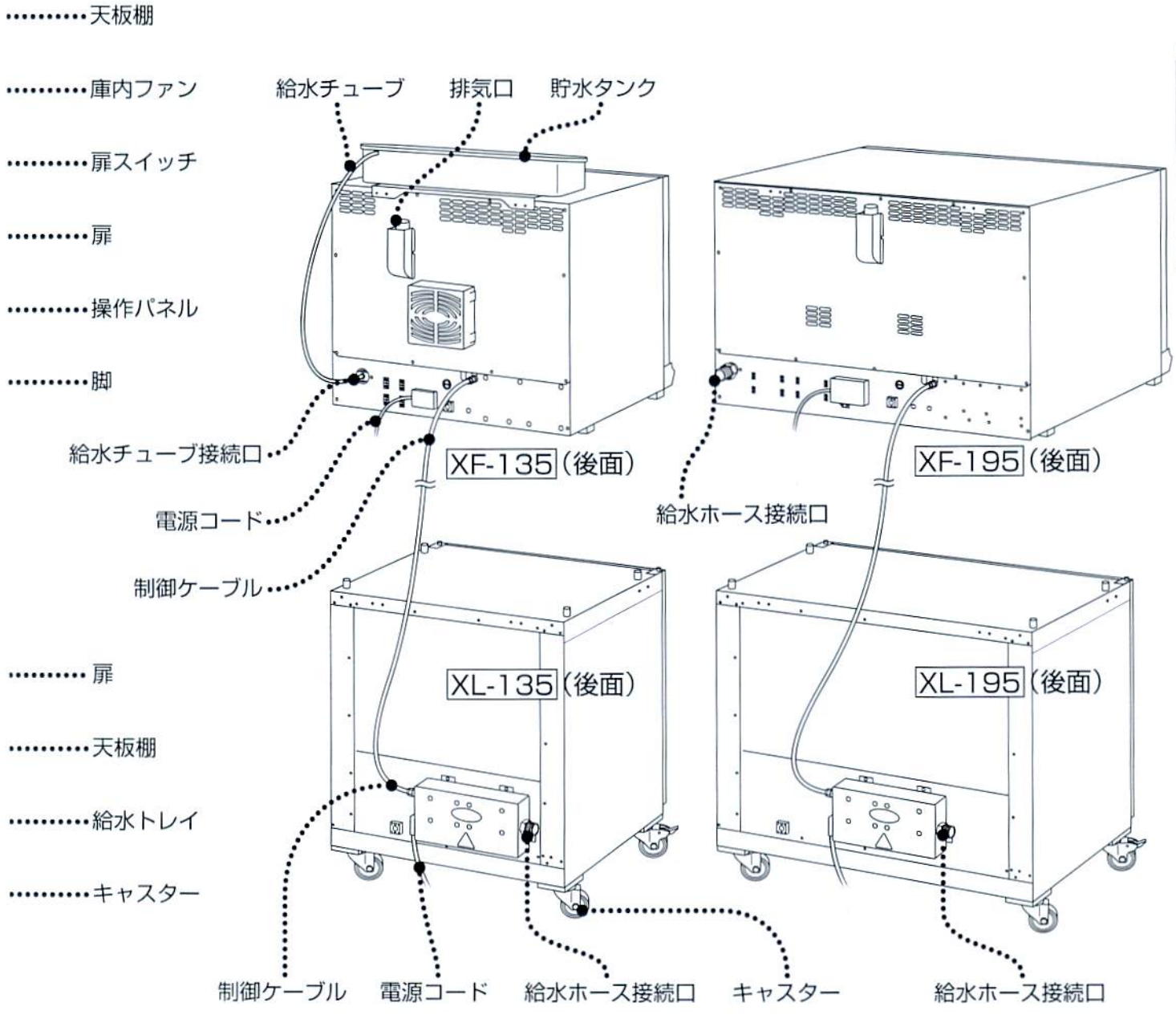
●専用設置台【オプション】

天板が8枚収納できる設置台です。



各部のなまえ

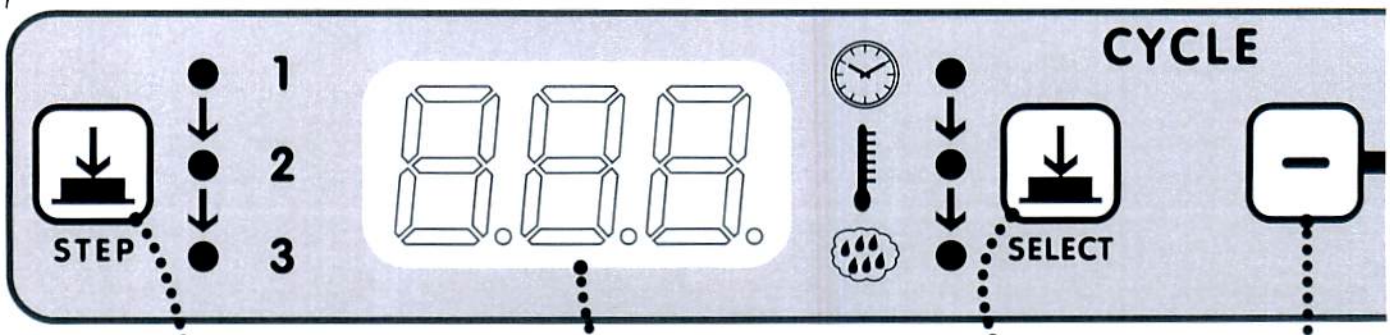
ベーカリーオーブン「XF-135」、ホイロ庫「XL-135」の図で説明します。
「XF-195」は、サイズと給水の方法が異なりますが、基本的な操作は「XF-135」と同様です。



操作パネル

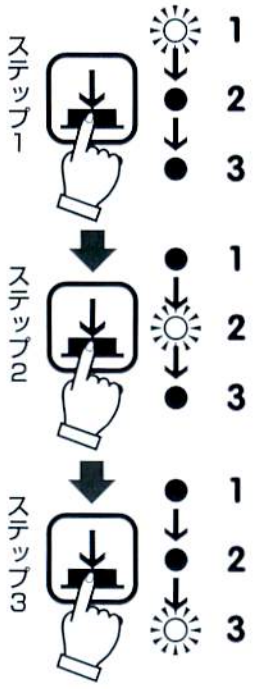
操作パネルは、次のように構成されています。

メインパネル



STEPキー

本機は、「時間」「温度」「加湿」の各工程を最大3つまで連続動作させることができます。
キーを押すとステップが切り替わります。



ディスプレイ

時間・温度・加湿を設定するときや、プログラムを登録・呼出すときに、数値を表示します。

時間

0.00 ～ 9.59
0分　9時間59分

inF
手動

温度

0 ～ 260
0℃　260℃

加湿

oFF ～ 100
スチーム無し　スチーム最大

（20刻みで設定できます。）
※「温度」の設定が90℃以上でのみ「加湿」が設定できます。

プログラム番号

P01 ～ P70
1番　70番

SELECTキー

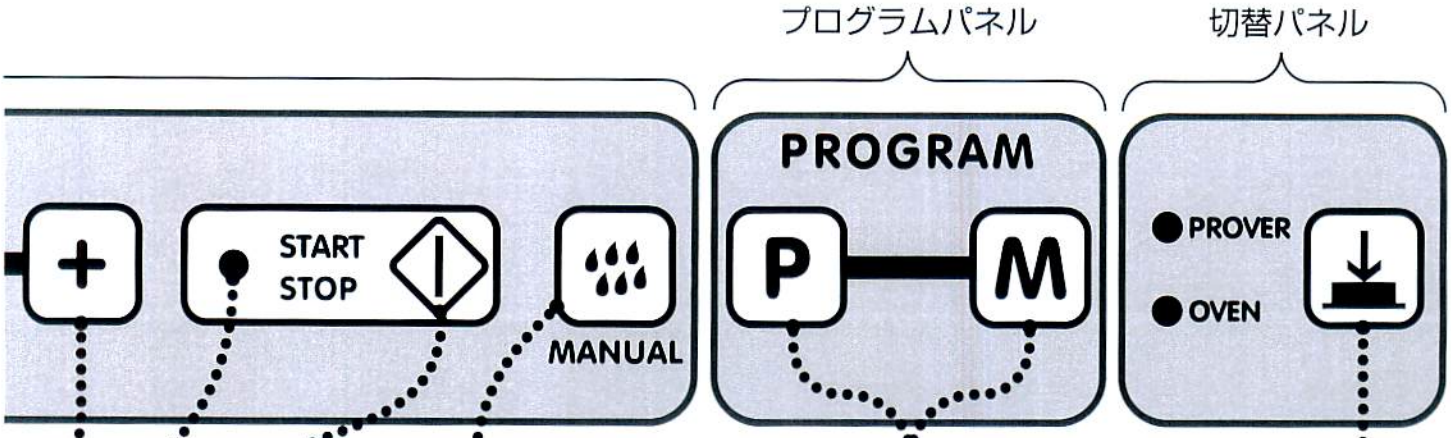
キーを押すごとに、「時間」「温度」「加湿」が切り替わります。

−キー / ＋キー

時間・温度・加湿を設定するときや、プログラムを登録・呼出すときに、数値を変更するキーです。
動作中に設定値を変更することもできます。

− キーを押すと、設定値が減ります。
2秒以上押し続けると、速く減り始めます。

＋ キーを押すと、設定値が増えます。
2秒以上押し続けると、速く増え始めます。



MANUALキー

ベーカリーオーブンの場合(OVEN)
手動で(キーを押している間)、ベーカリーオーブン庫内を加湿します。
MANUALキーは、焼成中でも有効です。
また、「温度」の設定が0℃から加湿できます。

ホイロ庫の場合(PROVER)
キーを押している間、ホイロ庫内に給水します。

PROGRAMキー

P プログラムの登録や変更。また、プログラムを呼び出して焼成するときに、本機をプログラムモードにするキーです。

M 登録・変更したプログラムを本機に記憶させるキーです。
(5秒間の長押しで記憶させます。)

電源スイッチ兼START/STOPキー

電源スイッチを兼ねた「START/STOPキー」です。

本機の動作を開始、停止させます。

また、本機は焼成終了後15分間操作されなければ、自動的に庫内ランプとディスプレイが消灯しオートパワーオフの状態になります。

オートパワーオフの状態から復帰するには、この START STOP キーを押してください。

START/STOPランプ

本機がオートパワーオフの状態になると、庫内ランプとディスプレイが消灯し、**START/STOP**ランプが点灯します。

オーブン/ホイロ庫 切替キー

キーを押すと、ベーカリーオーブンとホイロ庫の操作が切り替わります。
※ ホイロ庫が接続されていない場合は、切り替わりません。

● PROVER
○ OVEN
ベーカリーオーブンの操作モードです。

○ PROVER
● OVEN
ホイロ庫の操作モードです。

ホイロ庫が稼動中でもベーカリーオーブンの稼動状態が確認できます。

2 操作について

ベーカリーオーブンの基本的な操作

手動でステップを設定し焼成をおこなう方法

●始業

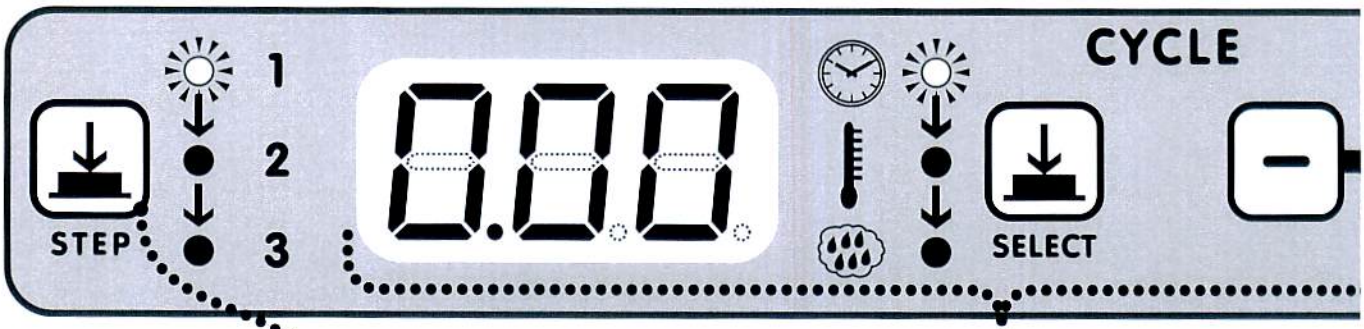
1 水道栓を開けてください。

(XF-195
XL-135
XL-195)

《XF-135をお使いの場合》
貯水タンクに水が入っているか確認してください。
「XF-135」は、給水が貯水式なので、水道栓は必要ありません。
給水の方法→42ページ参照

2 本機専用電源を「ON(入)」にしてください。

本機の電源がONになり、庫内ランプと操作パネル部が点灯します。

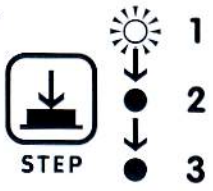


●動作を設定する

ステップの確認

1 ステップを確認してください。

ここでは、ステップ1の動作設定を例に説明します。



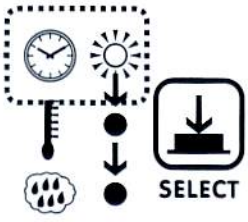
STEPキーを押すごとに、ステップが切り替わります。

本機は、「時間」「温度」「加湿」を設定した一連の工程を最大3つまで連続動作させることができます。

時間の設定

2 SELECTキーで時間を選んでください。

時間設定



3 −+キーで時間を設定してください。

− キーを押すと、時間が1分減ります。
2秒以上押すと、速く減り続けます。

+ キーを押すと、時間が1分増えます。
2秒以上押すと、速く増え続けます。

0.00 ～ 9.59 まで変更できます。（初期値：0分）
0分　9時間59分

inF に設定すると時間は設定されず、START/STOP キーによる手動操作になります。

※ ステップ1に inF を設定すると、ステップ2が設定されていても移行しません。

メモ

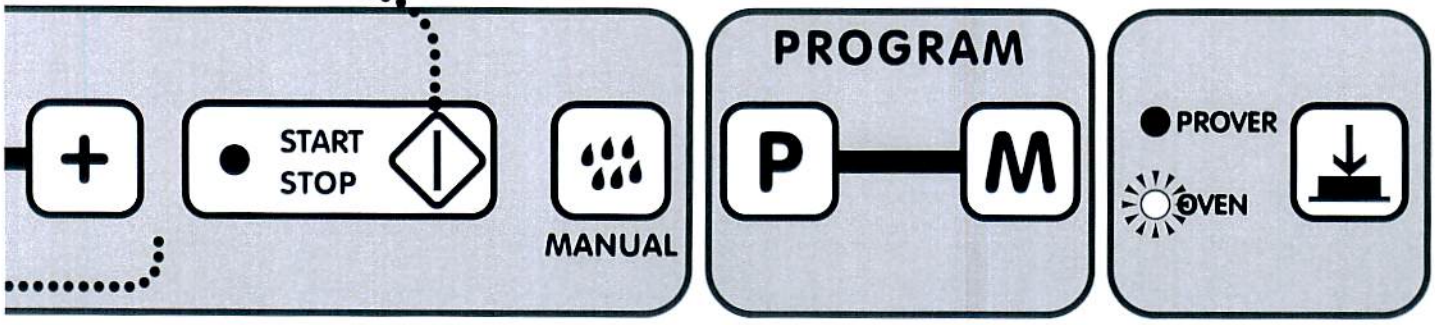
inF は、時間**"0分"の状態で − キーを1度押す**または、**"9時間59分"の状態で + キーを1度押す**と設定できます。

操作パネルに時間が、0.00(0時間00分)と表示されます。
本機がオートパワーオフ状態のときは、START STOPキーを押してください。

本機は、焼成終了後何もキーが押されなければ、1分後に庫内ランプ、15分後に操作パネルが自動的に消灯し、オートパワーオフ状態になります。
復帰するには、START STOPキーを押してください。

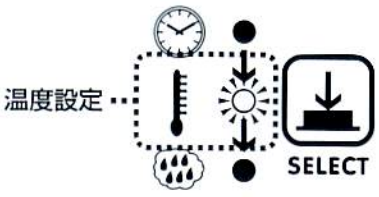
3 プリヒーティング(予熱)をおこなってください。

ステップ1の温度+10℃位でプリヒーティングをおこなってください。



温度の設定

4 SELECTキーで温度を選んでください。



5 −+キーで温度を設定してください。

−キーを押すと、温度が1℃減ります。
2秒以上押すと、速く減り続けます。

+キーを押すと、温度が1℃増えます。
2秒以上押すと、速く増え続けます。

0 (0℃) ～ 260 (260℃) まで変更できます。(初期値：30℃)

例: 90℃に設定した場合の表示例

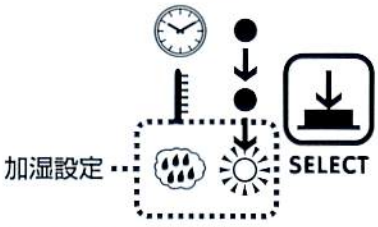
90

メモ

温度を90℃未満に設定した場合、「加湿」は設定できません。

加湿の設定 (温度を90℃以上に設定したときは加湿が設定できます。)

6 SELECTキーで加湿を選んでください。



7 −+キーで加湿を設定してください。

−キーを押すと、加湿度が20減ります。
2秒以上押すと、速く減り続けます。

+キーを押すと、加湿度が20増えます。
2秒以上押すと、速く増え続けます。

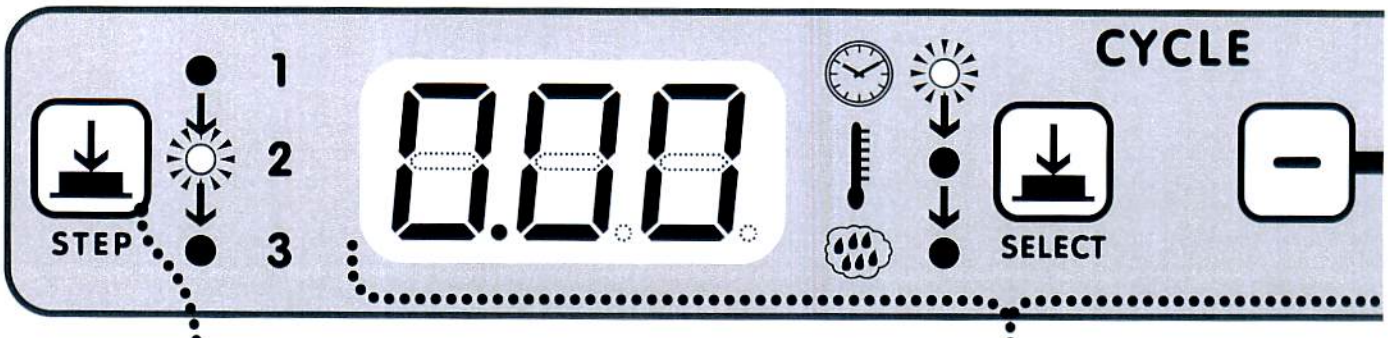
oFF (加湿無し) ～ 100 (加湿最大) まで設定できます。(初期値：oFF)

例: 加湿度80に設定した場合の表示例

80

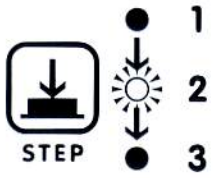
ステップ2 ～ 3を設定する場合

本機は、「時間」「温度」「加湿」を設定した一連の工程を最大3ステップまで登録できます。



ステップ2の設定

1 ステップ2を選んでください。

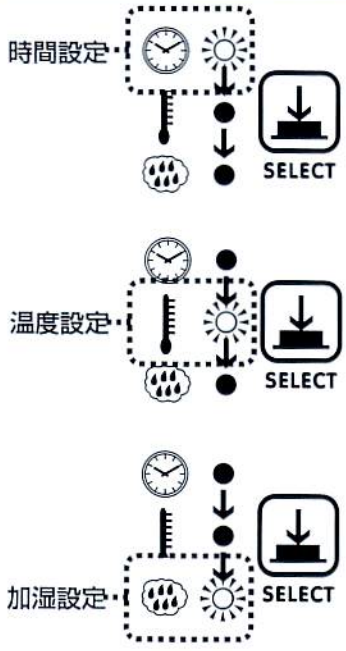


STEPキーを押して切り替えます。

2 時間・温度・加湿を設定してください。

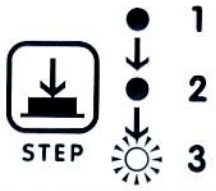
前ページの「●動作を設定する」の手順2 ～ 7を参考に「時間」「温度」「加湿」を設定してください。

→10 ～ 11ページ参照



ステップ3の設定

1 ステップ3を選んでください。

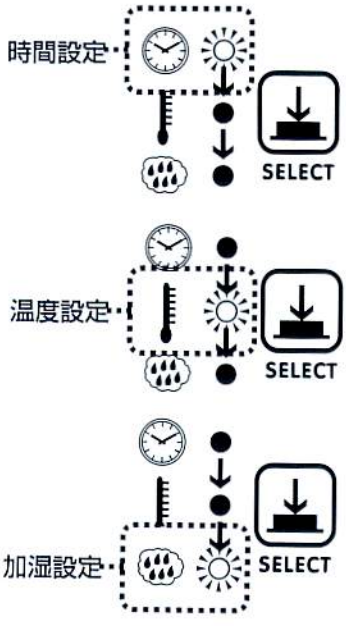


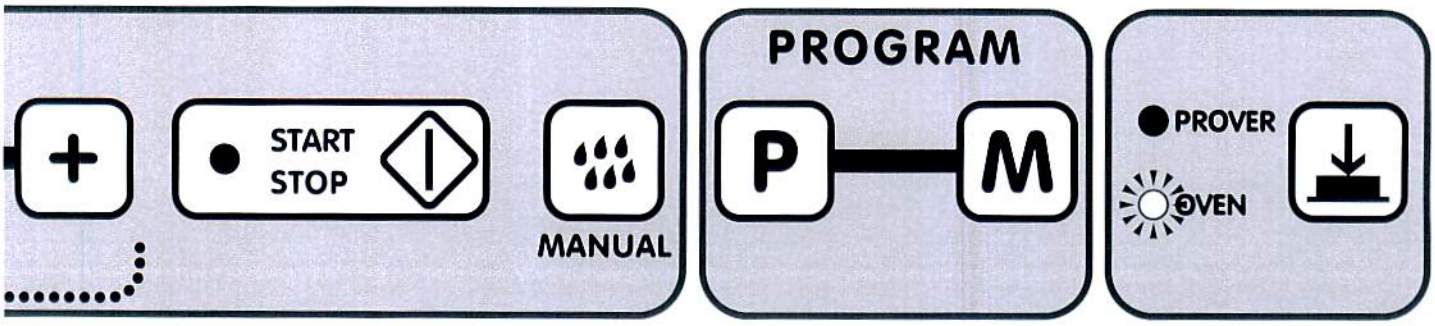
STEPキーを押して切り替えます。

2 時間・温度・加湿を設定してください。

前ページの「●動作を設定する」の手順2 ～ 7を参考に「時間」「温度」「加湿」を設定してください。

→10 ～ 11ページ参照

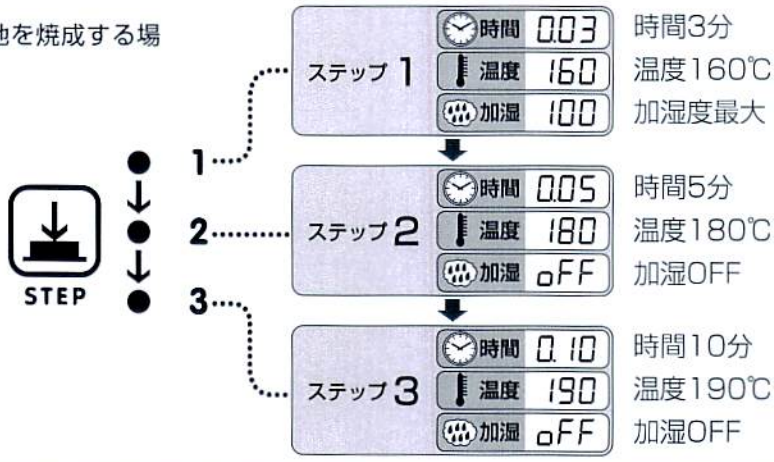




ヒント

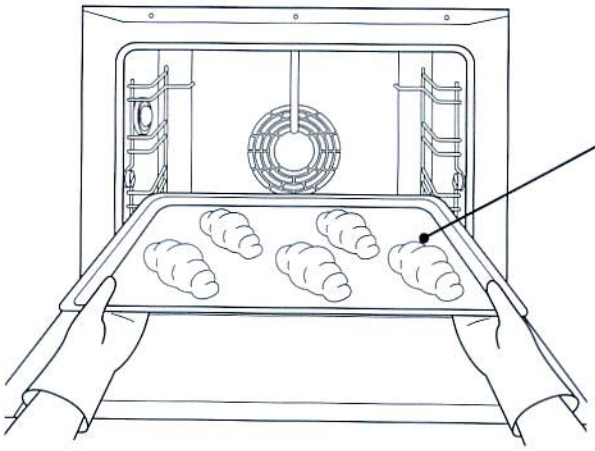
《ステップ動作の例》

例えば、クロワッサンの発酵済冷凍生地を焼成する場合、右のような設定ができます。



●焼成を開始する

1 パン生地を庫内に入れてください。



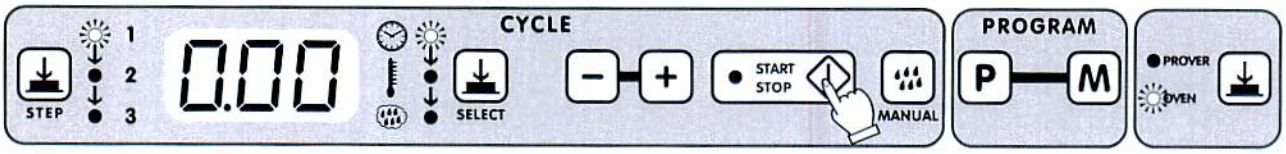
扉を開け、天板に乗せたパン生地を庫内に入れてください。

お願い

《天板の出し入れの際について》
天板を取り扱うときは、やけどやケガ防止のため、必ずお手持ちの耐熱手袋(ミトン)などをご使用ください。

2 扉を閉めてください。

3 START STOPキーを押してください。



START STOPキーを押すと表示が 0.00 になり、"ピッピッ"とブザーが鳴って焼成が始まります。

焼成が終了すると、15秒間ブザーが鳴ります。

ヒント

《焼成の途中でも設定が確認できます》

焼成中、**SELECT**キーを押すと、ディスプレイの内容が次のように切り替わります。

時間を選んだとき

残り時間が表示されます。

温度を選んだとき

設定温度と現在の庫内温度が4秒毎に切り替わり表示されます。

加湿を選んだとき

加湿度が表示されます。
温度の設定が90℃未満の場合、oFFと表示されます。

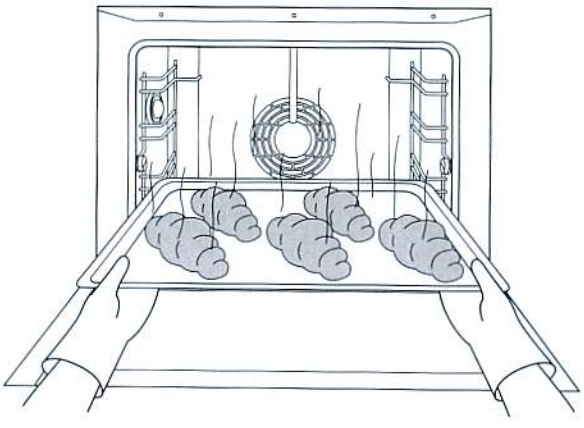
《焼成の途中でも設定が変更できます》

● STEPの変更
STEPキーを押すと、現在のステップを中断し、次のステップに移ります。
ステップ3の状態で、更に**STEP**キーを押すと、ステップ1に戻ります。

● 時間・温度・加湿の変更
① **SELECT**キーで変更する項目を選んでください。
② −キー / ＋キーを押して設定値を変更してください。

● 焼成の中止
焼成中にSTART STOPキーを押すと、焼成が中断されます。

4 扉を開けてパンを取り出してください。



お願い

《天板の出し入れの際について》
天板を取り扱うときは、やけどやケガ防止のため、必ずお手持ちの耐熱手袋(ミトン)などをご使用ください。

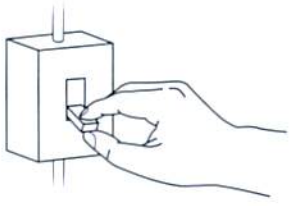
●終業

終業とは、1日を通しての焼成の終了を意味しています。焼成毎におこなう作業ではありません。

1 本機を清掃してください。

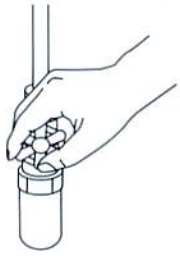
→「ベーカリーオーブンの清掃」（26ページ）参照
→「ホイロ庫の清掃」（28ページ）参照

2 本機専用電源を「OFF（切）」にしてください。



3 水道栓を閉めてください。

（XF-195、XL-135、XL-195）



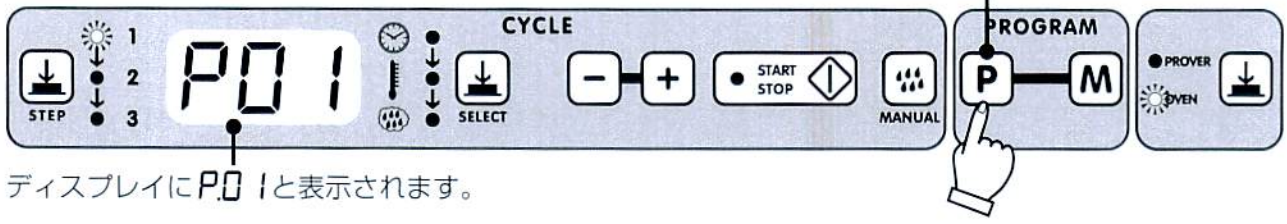
プログラムの登録と変更

●プログラムを登録するには

プログラムは、70件まで登録できます。
登録したプログラムは、プログラム番号を呼び出して焼成に使います。

プログラム設定を始める

1 Pキーを押してください。



ディスプレイにP01と表示されます。

2 登録するプログラム番号を選んでください。

プログラム番号が表示されます。

－ キーを押すと、プログラム番号が1減ります。
2秒以上押すと、速く減り続けます。

＋ キーを押すと、プログラム番号が1増えます。
2秒以上押すと、速く増え続けます。

P01（1番）～P70（70番）まで設定できます。

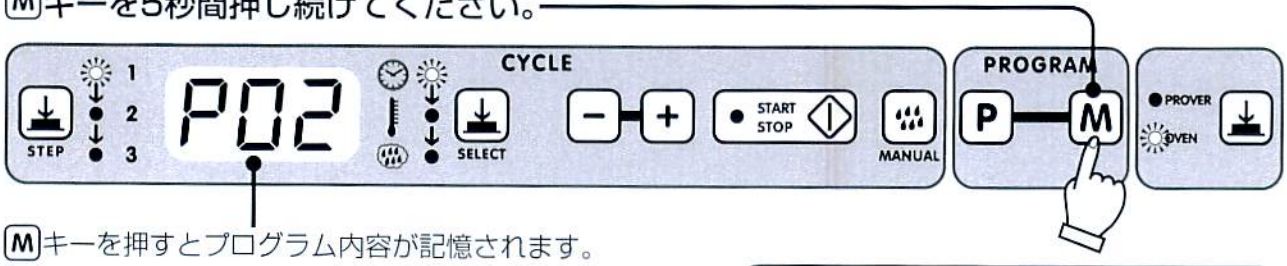
内容を設定する

3 「ステップ」「時間」「温度」「加湿」を設定してください。

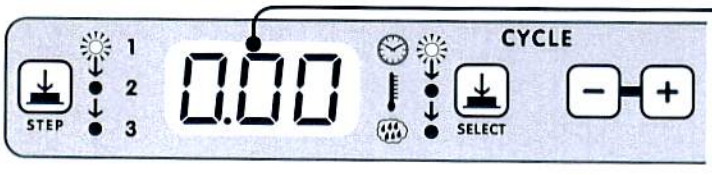
10～13ページ「●動作を設定する」を参考に、「ステップ」「時間」「温度」「加湿」を設定してください。

プログラムを登録する

4 Mキーを5秒間押し続けてください。



Mキーを押すとプログラム内容が記憶されます。



キーを5秒間押し続けると、ディスプレイ表示が消えます。

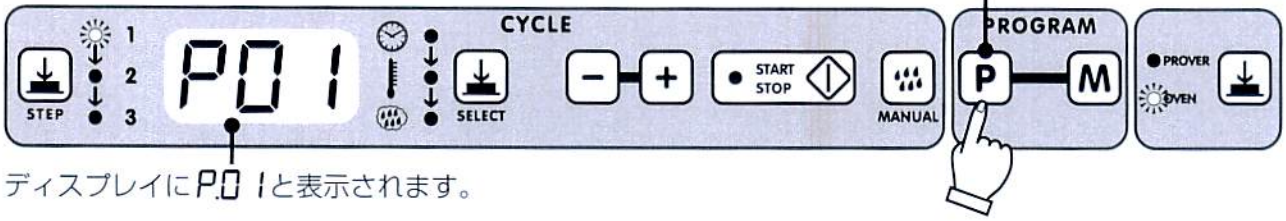
これでプログラムの登録は完了です。

●プログラムを変更するには

登録したプログラムをプログラム番号で呼び出して変更します。

プログラムを呼び出す

1 Pキーを押してください。



ディスプレイにP01と表示されます。

2 変更するプログラム番号を選んでください。

プログラム番号が表示されます。

－ キーを押すと、プログラム番号が1減ります。
2秒以上押すと、速く減り続けます。

＋ キーを押すと、プログラム番号が1増えます。
2秒以上押すと、速く増え続けます。

P01（1番）～P70（70番）から選択してください。

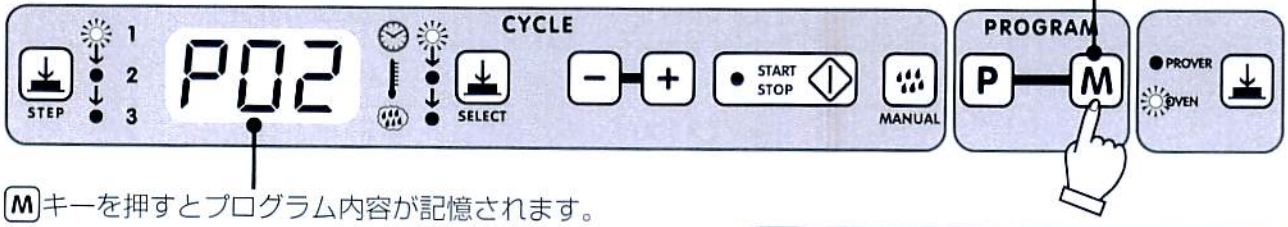
動作内容の設定を変更する

3 「ステップ」「時間」「温度」「加湿」を変更してください。

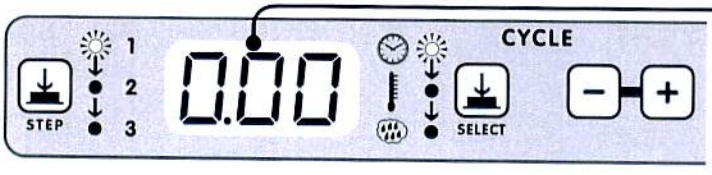
10～13ページ「●動作を設定する」を参考に、「ステップ」「時間」「温度」「加湿」を設定してください。

プログラムを再登録する

4 Mキーを5秒間押し続けてください。



Mキーを押すとプログラム内容が記憶されます。



キーを5秒間押し続けると、ディスプレイ表示が消えます。

これでプログラムの変更は完了です。

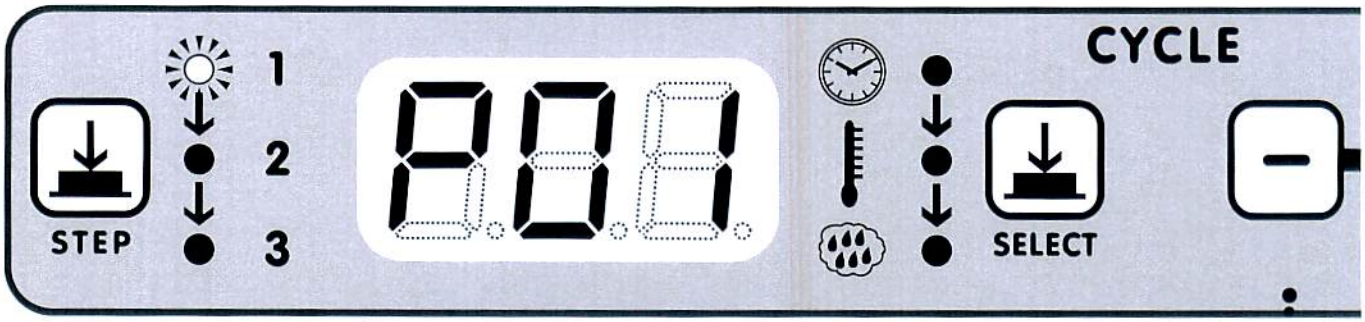
登録したプログラムを呼び出して焼成する

●始業

1 水道栓を開けてください。

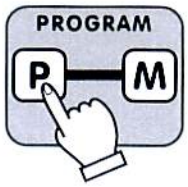
(XF-195
XL-135
XL-195)

《XF-135をお使いの場合》
貯水タンクに水が入っているか確認してください。
「XF-135」は、給水が貯水式なので、水道栓は必要ありません。
給水の方法→42ページ参照



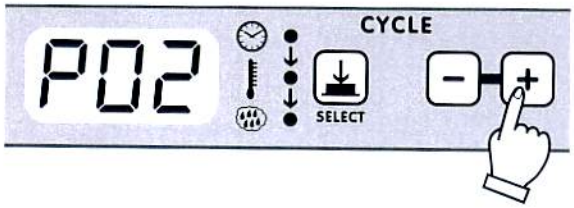
●プログラムを呼び出す

1 Pキーを押してください。



ディスプレイに P01 と表示されます。

2 焼成に使うプログラムを選んでください。



－キーを押すと、プログラム番号が1減ります。
2秒以上押すと、速く減り続けます。

＋キーを押すと、プログラム番号が1増えます。
2秒以上押すと、速く増え続けます。

P01（1番）～P70（70番）から選択します。

3 START STOPキーを押してください。

プリヒーティング(予熱)が始まります。

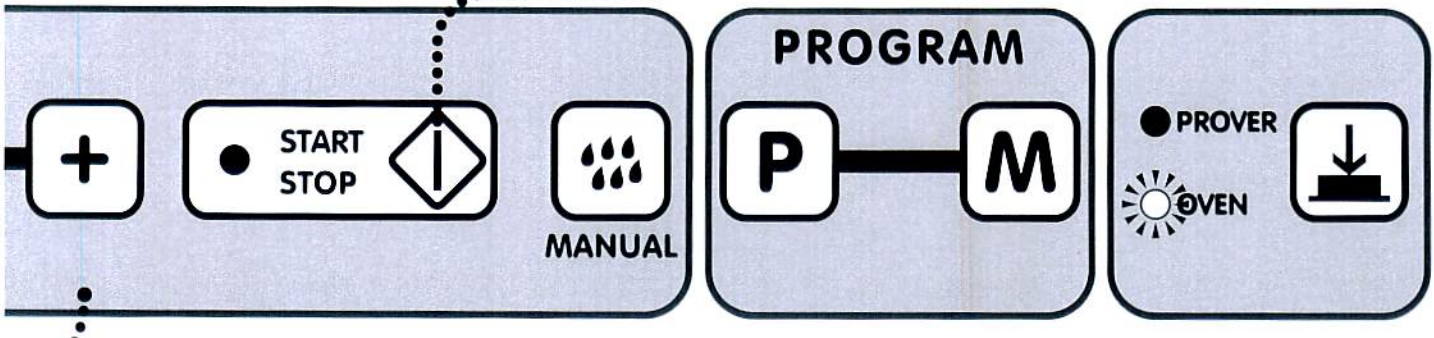
プリヒーティングが終了すると、ブザーが鳴ります。

登録したプログラムを呼び出して焼成する場合、ステップ1の設定温度＋10℃で自動的にプリヒーティングをおこないます。

2 本機専用電源を「ON(入)」にしてください。

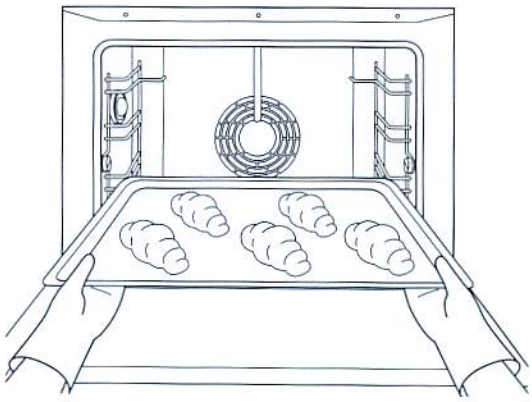
本機の電源がONになり、庫内ランプと操作パネルが点灯します。
操作パネルに時間が、0:00(0時間00分)と表示されます。
本機がオートパワーオフ状態のときは、START STOPキーを押してください。

本機は、焼成終了後何もキーが押されなければ、1分後に庫内ランプ、15分後に操作パネルが自動的に消灯し、オートパワーオフ状態になります。
復帰するには、START STOPキーを押してください。



●焼成を開始する

1 パン生地を庫内に入れてください。



扉を開け、天板に乗せたパン生地を庫内に入れてください。

お願い
《天板の取り扱いについて》
天板を取り扱うときは、やけどやケガ防止のため、必ずお手持ちの耐熱手袋(ミトン)などをご使用ください。

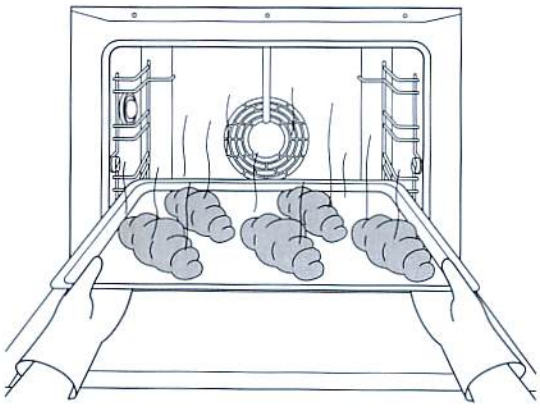
2 扉を閉めてください。

焼成が始まります。

3 焼成が終了すると、ブザーが鳴ります。

15秒間ブザーが鳴ります。

4 扉を開けてパンを取り出してください。



お願い
《天板の取り扱いについて》
天板を取り扱うときは、やけどやケガ防止のため、必ずお手持ちの耐熱手袋(ミトン)などをご使用ください。

焼成中の動作について

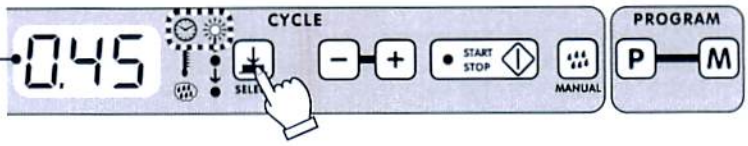
ヒント

《焼成の途中でも設定が確認できます》

焼成中、**SELECT**キーを押すと、ディスプレイの内容が次のように切り替わります。

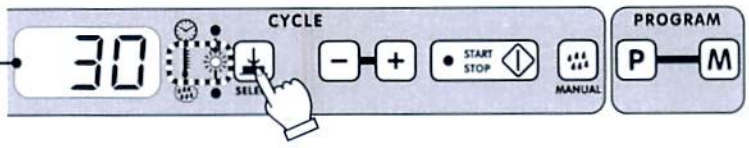
時間を選んだとき

残り時間が表示されます。



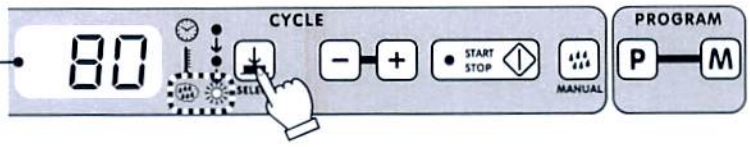
温度を選んだとき

設定温度と現在の庫内温度が、4秒毎に切り替わり表示されます。



加湿を選んだとき

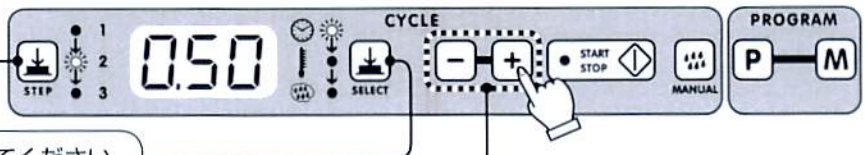
加湿度が表示されます。
温度の設定が90℃未満の場合、oFFと表示されます。



《焼成の途中でも時間の設定が変更できます》

焼成中、[−][+]キーを押すと、時間の設定が変更できます。

① **STEP**キーで時間を変更したい**ステップ**を選択ください。



② **SELECT**キーで**時間**を選択してください。

③ [−][+]キーで時間を設定してください。

[−]キーを押すと、時間が1分減ります。
2秒以上押すと、速く減り続けます。

[+]キーを押すと、時間が1分増えます。
2秒以上押すと、速く増え続けます。

0.00（0分）～ 9.59（9時間59分）まで変更できます。

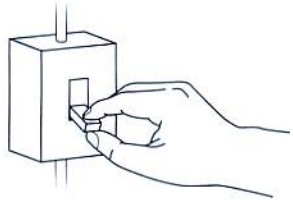
●終業

終業とは、1日を通しての焼成の終了を意味しています。焼成毎におこなう作業ではありません。

1 本機を清掃してください。

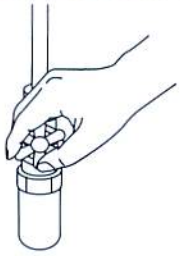
→「ベーカリーオーブンの清掃」（26ページ）参照
→「ホイロ庫の清掃」（28ページ）参照

2 本機専用電源を「OFF（切）」にしてください。



3 水道栓を閉めてください。

（XF-195、XL-135、XL-195）



ホイロ庫の操作

ホイロ庫をご使用の場合、操作はベーカリーオーブンの操作パネル上でおこないます。

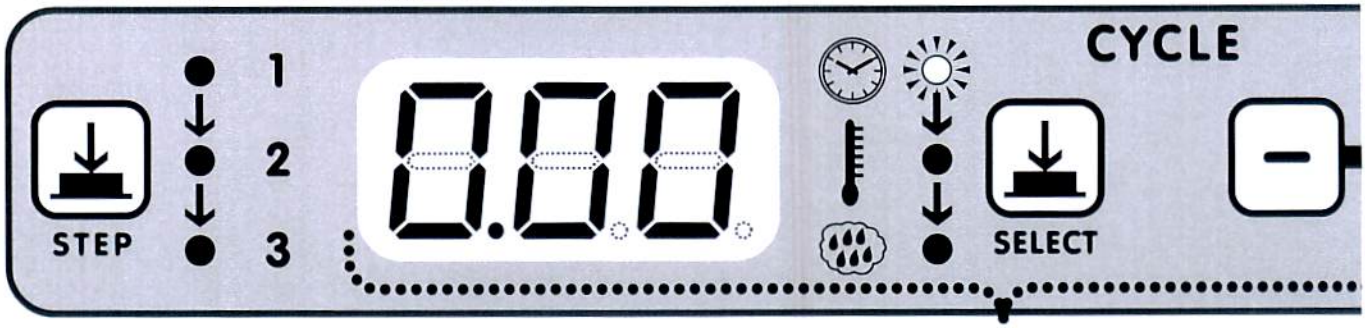
●始業

1 水道栓を開けてください。
(XL-135、XL-195)

2 ベーカリーオーブンとホイロ庫の専用電源を「ON(入)」にしてください。

ベーカリーオーブンの電源がONになり、庫内ランプと操作パネルが点灯します。
操作パネルに時間が、0時間00分と表示されます。

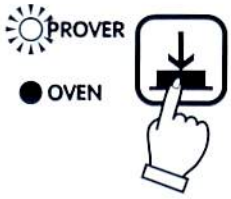
ベーカリーオーブンの操作パネル



●ホイロ庫の操作を設定する

ホイロ庫モードに切り替える

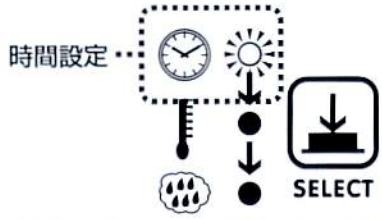
1 ベーカリーオーブンをホイロ庫モードにしてください。



オーブン/ホイロ庫切替キーを押し、**PROVER**を選んでください。

時間を設定する

2 **SELECT**キーで時間を選んでください。



3 −+キーで発酵時間を設定してください。

− キーを押すと、時間が1分減ります。
2秒以上押すと、速く減り続けます。

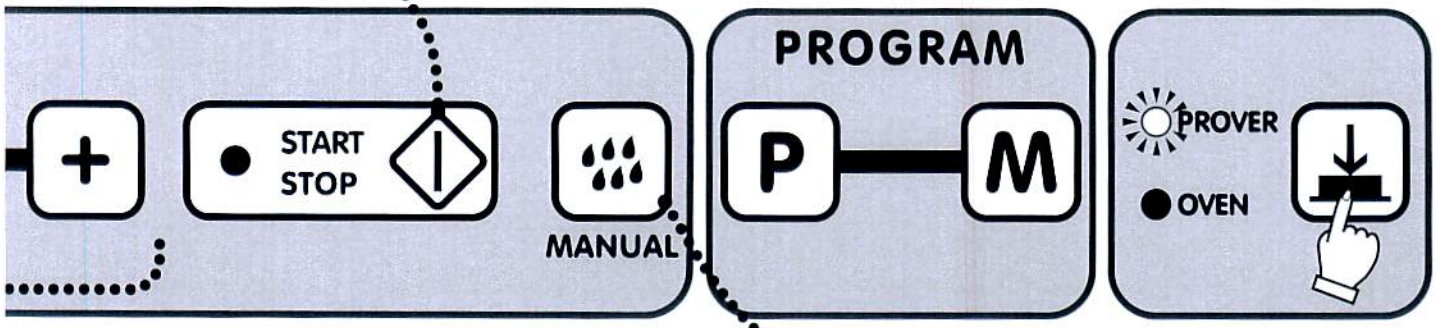
+ キーを押すと、時間が1分増えます。
2秒以上押すと、速く増え続けます。

0.00 ～ 9.59 まで変更できます。(初期値：0分)
0分　9時間59分

inF に設定すると時間は設定されず、START STOP キーによる手動操作になります。

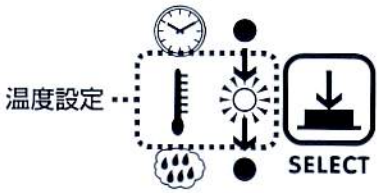
オートパワーオフ状態のときは、START STOPキーを押してください。

ベーカリーオーブンは、焼成終了後何もキーが押されなければ、1分後にベーカリーオーブンの庫内ランプ、15分後に操作パネルが自動的に消灯し、オートパワーオフ状態になります。
復帰するには、START STOPキーを押してください。



温度を設定する

4 SELECTキーで温度を選んでください。



5 −+キーで発酵温度を設定してください。

− 1度押すと、温度が1℃減ります。
2秒以上押すと、速く減り続けます。

+ 1度押すと、温度が1℃増えます。
2秒以上押すと、速く増え続けます。

0 ～ 50 まで変更できます。（初期値：0℃）
0℃　50℃

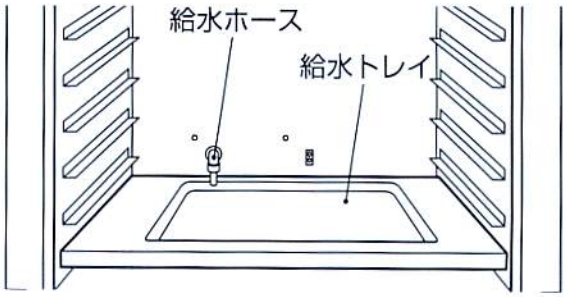
例: 35℃に設定した場合の表示例

35

ホイロ庫内に給水する

6 MANUALキーを押して、給水してください。

キーを押している間、ホイロ庫内に給水されます。

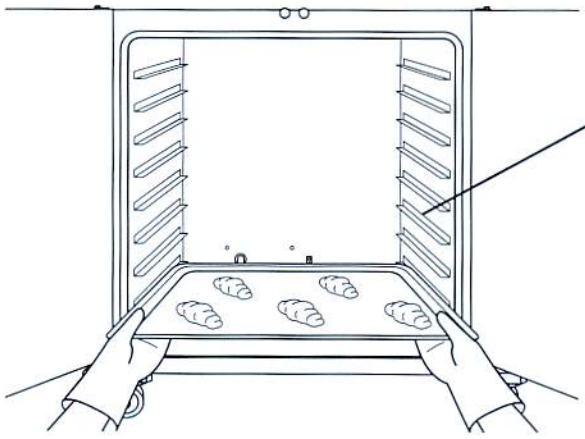


お願い

《給水時の注意点について》
- 給水トレイがホイロ庫内にセットされていることを確認してください。
- 給水トレイの半分位まで給水してください。
- 使用中、水が少なくなったら補給してください。

●発酵を開始する

7 パン生地をホイロ庫内に入れてください。



扉を開けて、天板に乗せたパン生地をホイロ庫内に入れてください。

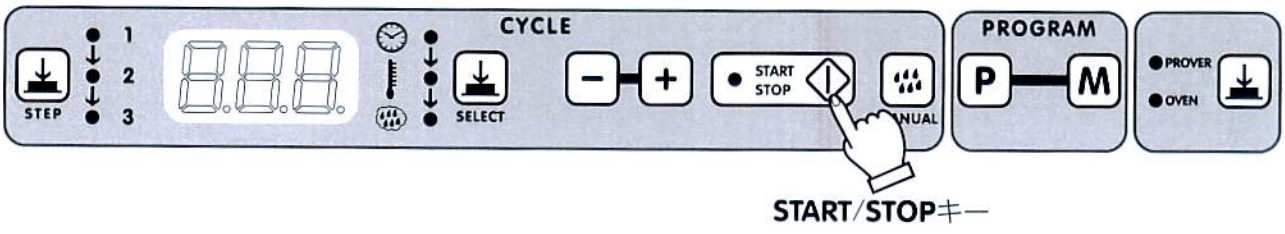
お願い

《天板の取り扱いについて》
天板を取り扱うときは、やけどやケガ防止のため、必ずお手持ちの耐熱手袋(ミトン)などをご使用ください。

8 扉を閉めてください。

9 ベーカリーオーブンのSTART/STOPキーを押してください。

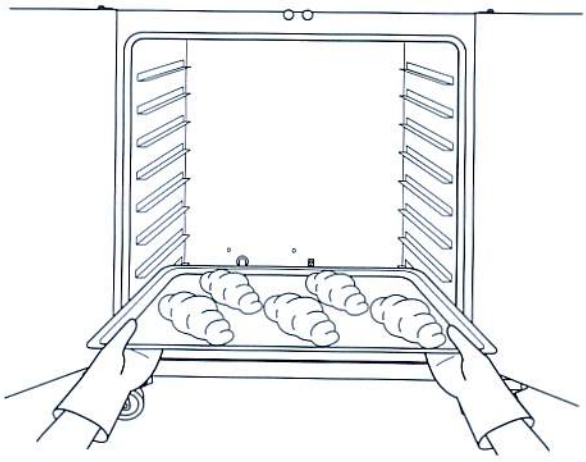
発酵が始まります。



START/STOPキー

発酵が終了したら、ブザーが“ピッピッピッ”と鳴ります。

10 パン生地を取り出してください。



お願い

《庫内よりパン生地を取り出すときの注意》
天板を取り扱うときは、やけどやケガ防止のため、必ずお手持ちの耐熱手袋(ミトン)などをご使用ください。

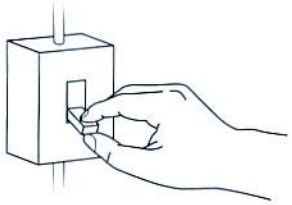
●終業

終業とは、1日を通しての発酵を意味しています。発酵毎におこなう作業ではありません。

1 ホイロ庫を清掃してください。

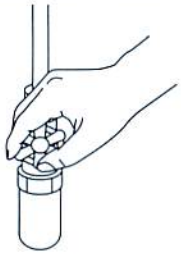
→「ベーカリーオーブンの清掃」（26ページ）参照
→「ホイロ庫の清掃」（28ページ）参照

2 ホイロ庫の専用電源を「OFF（切）」にしてください。



3 水道栓を閉めてください。

（XL-135、XL-195）



3 清掃と点検について

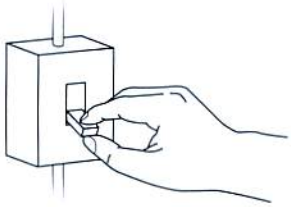
ベーカリーオーブンの清掃

お願い

《使用する洗剤について》
- 機器の維持、安全上、ベーカリーオーブンに付属の「オーブンクリーナー」をご使用ください。
- 洗剤がなくなりましたら、お買い上げ店にご注文ください。

《洗剤の保管にあたっての注意》
- 高温や直射日光を避け、なるべく冷所で保管してください。
- 幼児の手の届くところには、置かないでください。

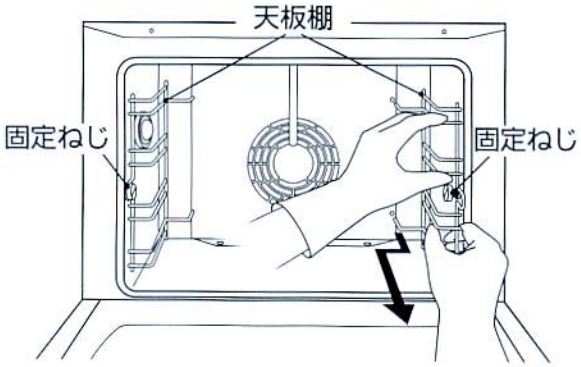
1 ベーカリーオーブン専用電源を「OFF(切)」にしてください。



2 庫内がさめるまで待ってください。

庫内温度が約40℃以下になるまで待ってください。

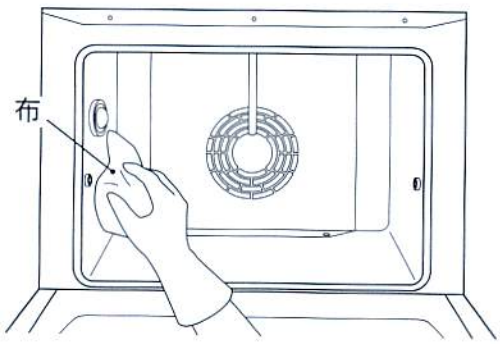
3 天板棚を取り外して清掃してください。



お願い

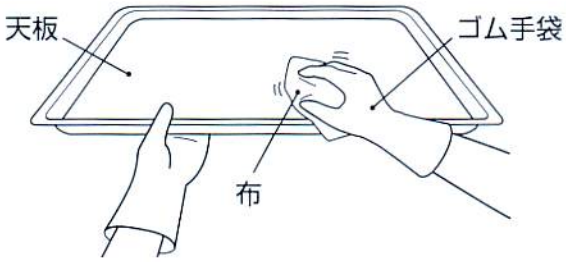
《天板棚の清掃について》
天板棚を取り出し、オーブンクリーナーを使用して洗浄してください。
天板棚は、固定ねじをゆるめて手前に引き出し、庫内より取り外してください。
※ 天板棚の洗浄終了後は、本機に取り付けることをわすれないでください。

4 庫内を清掃してください。



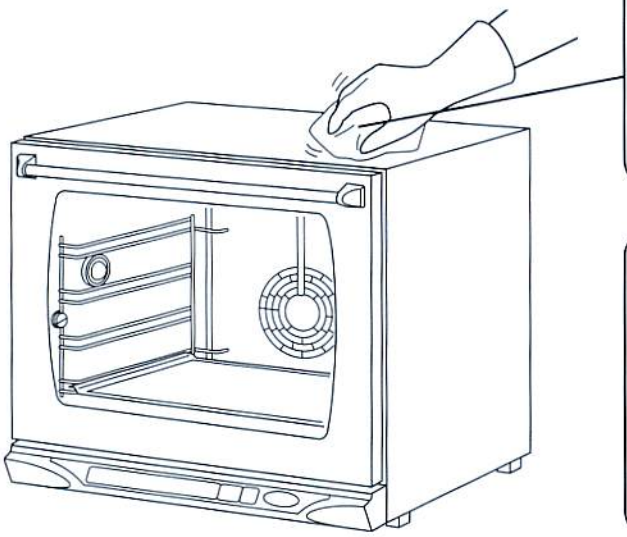
付属の「オーブンクリーナー」を湿らせた布につけて、庫内の汚れをきれいに拭き取ってください。
※「オーブンクリーナー」による清掃の後は、洗剤成分を十分に拭き取ってください。

5 天板を洗浄してください。



天板の汚れを水で洗い流してください。洗い流した後は乾いた布で水分を拭き取ってください。
※汚れがひどいときは「オーブンクリーナー」を掛けて汚れを拭き取ってください。
「オーブンクリーナー」による洗浄の後は、水で十分にすすぎ、洗剤成分を落としてから、乾いた布で水分を拭き取ってください。

6 本体外装の清掃をしてください。



- 清掃は、「オーブンクリーナー」や水を直接掛けずに、布やスポンジなどにしみ込ませて拭いてください。
- 「オーブンクリーナー」を使用した後は、水で湿らせた布などで、洗剤成分を十分に拭き取ってください。
- 清掃後は、本機の表面に残っている水分を乾いた布などで、きれいに拭き取ってください。

お願い

《本体外装の清掃時の注意》
- 本体に直接「オーブンクリーナー」や水を掛けないでください。
  漏電、ショート、感電、錆などが発生し、故障の原因になります。
- 操作パネルは、強くこすらないでください。
  操作パネルのシートが破れ、内部に水などが入ったり、スイッチ類やディスプレイの故障の原因になります。

7 扉の清掃をしてください。

- 扉の清掃は、中性洗剤や水を直接掛けずに、布やスポンジなどにしみ込ませて拭いてください。
- 水で湿らせた布などで、洗剤成分を十分に拭き取ってください。
- 清掃後は、扉に残っている水分を乾いた布などで、きれいに拭き取ってください。

8 「XL-135」をご使用の場合は、貯水タンク、給水チューブ、ストレーナーを洗浄してください。

お願い

《貯水タンク清掃時の注意》
- 貯水タンクの清掃には、食洗機を使用しないでください。変形や破損の原因になります。

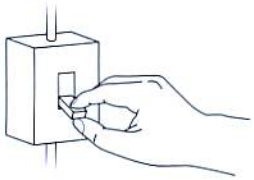
ホイロ庫の清掃

お願い

《使用する洗剤について》
- 機器の維持、安全上、ホイロ庫に付属の「オーブンクリーナー」をご使用ください。
- 洗剤がなくなりましたら、お買い上げ店にご注文ください。

《洗剤の保管にあたっての注意》
- 高温や直射日光を避け、なるべく冷所で保管してください。
- 幼児の手の届くところには、置かないでください。

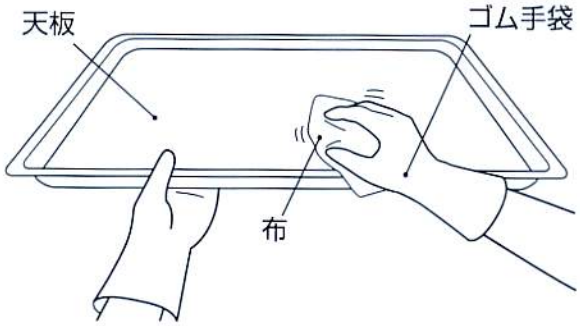
1 ホイロ庫専用電源を「OFF(切)」にしてください。



2 庫内がさめるまで待ってください。

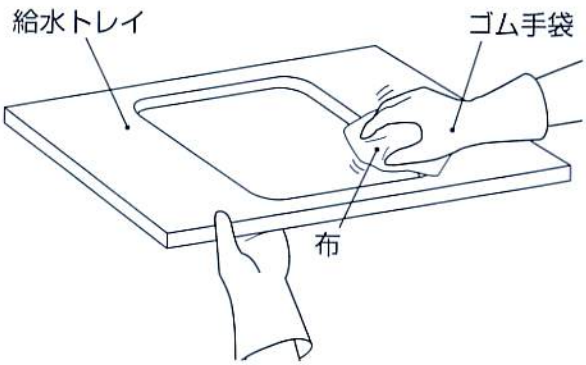
庫内の温度がある程度下がるまで待ってください。

3 天板を洗浄してください。



天板を庫内から取り出し、水で汚れを洗い流してください。洗い流した後は乾いた布で水分を拭き取ってください。
※ 汚れがひどいときは「オーブンクリーナー」を掛けて汚れを拭き取ってください。
「オーブンクリーナー」による洗浄の後は、水で十分にすすぎ、洗剤成分を落としてから、乾いた布で水分を拭き取ってください。

4 給水トレイを清掃してください。



給水トレイを乾いた布で水分やゴミを拭き取ってください。
※ 汚れがひどいときは「オーブンクリーナー」を掛けて汚れを拭き取ってください。
「オーブンクリーナー」による洗浄の後は、水で十分にすすぎ、洗剤成分を落としてから、乾いた布で水分を拭き取ってください。

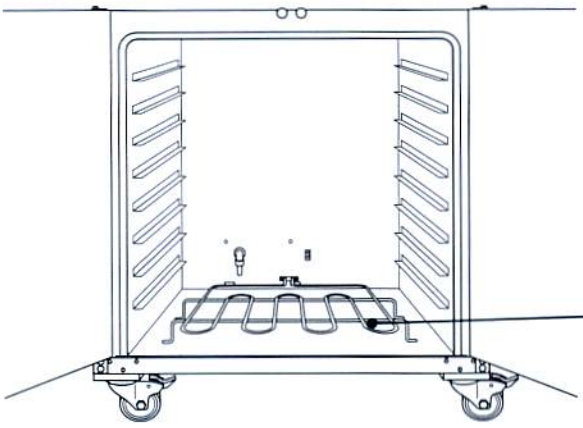
お願い

《給水トレイの取り出しについて》
給水トレイを庫内から取り出すときは、給水トレイ内の水を庫内にこぼさないでください。

⚠注意

給水トレイを庫内から取り出す際は、ヒーターに引っかからないよう注意してください。

5 庫内を清掃してください。



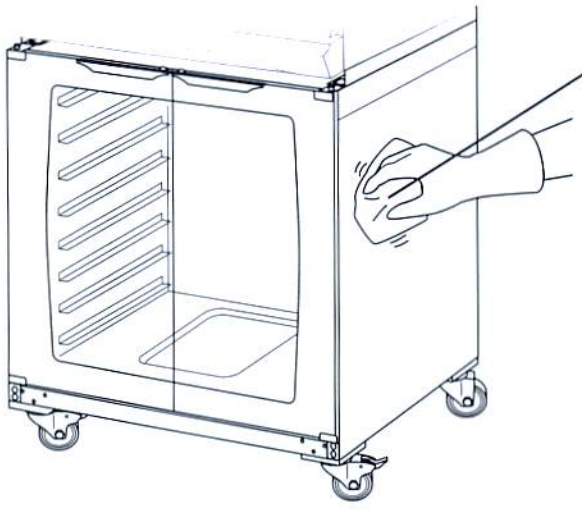
水を含ませた布などで汚れを拭き取ってください。
※ 汚れがひどいときは水でしぼった布に「オーブンクリーナー」を含ませて汚れを拭き取ってください。
「オーブンクリーナー」による洗浄の後は、きれいな水でしぼった布で洗剤成分を完全に拭き取ってください。

ヒーターには水や洗剤をかけないでください。

お願い

《ヒーターについて》
ヒーターに無理な力をくわえないでください。
破損する恐れがあります。

6 本体外装の清掃をしてください。



- 清掃は、「オーブンクリーナー」や水を直接掛けずに、布やスポンジなどにしみ込ませて拭いてください。
- 「オーブンクリーナー」を使用した後は、水で湿らせた布などで、洗剤成分を十分に拭き取ってください。
- 清掃後は、本機の表面に残っている水分を乾いた布などで、きれいに拭き取ってください。

お願い

《本体外装の清掃時の注意》
- 本体に直接「オーブンクリーナー」や水を掛けないでください。
  漏電、ショート、感電、錆などが発生し、故障の原因になります。

7 扉の清掃をしてください。

- 扉の清掃は、中性洗剤や水を直接掛けずに、布やスポンジなどにしみ込ませて拭いてください。
- 水で湿らせた布などで、洗剤成分を十分に拭き取ってください。
- 清掃後は、扉に残っている水分を乾いた布などで、きれいに拭き取ってください。

点検

お願い

《点検時の注意について》

- 必ず、専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を「OFF(切)」にしてから点検してください。
- 本機が十分に冷めてから点検してください。
- 機械全体の定期的(最低年1回)な点検(有料)をお勧めします。定期点検は、お買い上げ店または専門の技術者に依頼してください。

下記の各項目に従って、点検してください。

<table>
<tr><th>点検時期</th><th colspan="2">点検する箇所</th><th>処置の方法</th></tr>
<tr><td>常　時</td><td>ベーカリーオーブン</td><td>庫内ランプが切れていないか？</td><td rowspan="3">お買い上げ店にご連絡ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">始業時
終業時</td><td>ベーカリーオーブン</td><td rowspan="2">給水の各配管部品の接続部分に水漏れや損傷はないか？</td></tr>
<tr><td>ホイロ庫</td></tr>
<tr><td>お買い上げ店にご相談ください</td><td colspan="2">別売の浄軟水器カートリッジの交換</td><td>カートリッジの交換については、お買い上げ店にご相談ください。</td></tr>
</table>

故障かなと思ったら

●故障かなと思われることがありましたら、下記の項目を確認してください。
症状が改善されないときや「処置の方法」の欄に「お買い上げ店にご連絡ください。」の症状の場合は、本機専用電源を「OFF(切)」にし、水道栓を閉め、早急にお買い上げ店までご連絡ください。

※ご連絡の際は、本機の型式名·機番·故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

症　状		確認すること(または、原因)	処置の方法
本機専用電源を「ON(入)」にしたとき	庫内ランプが点灯しない	–	お買い上げ店にご連絡ください。
	庫内ランプと操作パネルの表示部が、どちらも点灯しない	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
		電源コードが正しく接続されていますか？	お買い上げ店にご連絡ください。
	すぐに「OFF(切)」になる	–	お買い上げ店にご連絡ください。
動作設定中	加湿が設定できない	温度の設定は、90℃以上に設定されていますか？	温度が90℃未満では、加湿は設定できません。温度を90℃以上に設定してください。
調理を開始したとき	START/STOPキーを押しても調理を開始しない	時間を「0分」に設定していませんか？	時間を正しく設定してください。
		扉が開いていませんか？	扉を確実に閉めてください。
		扉スイッチが破損していませんか？	お買い上げ店にご連絡ください。
	加湿の設定値表示は点灯しているが加湿しない	給水配管の接続は正しくおこなわれていますか？	給水配管の接続を正しくおこなってください。
		水道栓は開いていますか？（XF-195）	水道栓を開いてください。
		貯水タンクの水が少なくなっていませんか？（XF-135）	貯水タンクに水を補給してください。
		給水チューブのフィルターが汚れによってつまっていませんか？（XF-135）	フィルターを清掃してください。
		給水チューブが折れ曲がっていませんか？（XF-135）	給水チューブの曲がりを修正または交換してください。

故障かなと思ったら

	症　状	確認すること(または、原因)	処置の方法
調理を開始したとき	MANUALキーを押しても、ホイロ庫に給水しない	水道栓は開いていますか？（XL-135/XL-195）	水道栓を開いてください。
		給水配管の接続は正しくおこなわれていますか？	給水配管の接続を正しくおこなってください。
		ベーカリーオーブンの操作モードになっていませんか？	オーブン/ホイロ庫切替キーでホイロ庫の操作モードに切り替えてください。
動作中に…	MANUALキーを押しても、ベーカリーオーブン庫内に加湿しない	ホイロ庫の操作モードになっていませんか？	オーブン/ホイロ庫切替キーでベーカリーオーブンの操作モードに切り替えてください。
		水道栓は開いていますか？（XF-195）	水道栓を開いてください。
		貯水タンクの水が少なくなっていませんか？（XF-135）	貯水タンクに水を補給してください。
		給水チューブの先端(おもりの付いた方)は、貯水タンク内の水に差し込まれていますか？	給水チューブを正しく差し込んでください。
		温度の設定は、90℃以上に設定されていますか？	温度が90℃未満ではMANUALキーによる加湿はできません。温度を90℃以上に設定してください。
	庫内温度が異常に上昇する	－	お買い上げ店にご連絡ください。
	庫内ランプと操作パネルの表示部が、どちらも消灯した	－	
	ベーカリーオーブンが完全に停止した	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
		電源コードが外れていませんか？	電源コードを確認してください。
	扉を閉じているのに扉のパッキンから水が漏れる	ドアパッキンが破損していませんか？	お買い上げ店にご連絡ください。
	本機から異常音がする	本機がグラついていませんか？	
	庫内から異常音がする	ファンの回転に異常はありませんか？	
	調理温度がディスプレイに「EE1」と表示される	(庫内温度センサーが故障しています。)	
動作後	給排水管の接続が正しくおこなわれているのに、本機周辺に水漏れの形跡がある	－	お買い上げ店にご連絡ください。
	焼成の仕上がりが均一でない	ファンの回転方向は正転･逆転に切り変替わっていますか？	
		ファンの1つが止まっていませんか？(XF-195の場合)	

4 据付けかた

据付けの準備

●据付ける前に、この「警告」「注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
●ここに示した事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠警告

●**据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼すること**
据付工事に不備があった場合、漏水、感電や火災の原因になります。

●**本機は屋内に据え付けること**
本機は屋内専用です。雨水のかかる場所で使用されますと、漏電や感電の原因になります。

●**本機を次のような場所に据え付けないこと**
- 水のかかりやすい場所、または湿気などで結露する場所
- ホコリの多い場所
- 振動の激しい場所
- 消防設備の近く
- 建設物の非常口の近く

上記のような場所に据え付けると、事故や故障の原因になります。

●**電気工事は「電気設備に関する技術基準」（電気工事は、電気工事士によるD種接地工事が必要）、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること**
据付工事に不備があった場合、感電や火災の原因になります。

●**アース工事を必ずおこなうこと**
- アース線はガス管、水道管、避雷針や電話のアース線に接続しないでください。
- アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。

⚠注意

●**床面が丈夫で平らな場所に水平になるように据え付けること**
据え付けに不備があると漏水、転倒や落下によるケガの原因になることがあります。

●**機械の後面（電気部品側）は、隣接面より400mm以上、右側面は100mm以上、左側面は300mm以上開けること**
本機内に熱がこもると電子制御部品に影響をおよぼし、故障や火災の原因になることがあります。

●**本機の上方にファン付排気フード（ダクト）を設備し、機械から出る蒸気や熱風を排気すること**
- 湿気により壁面や天井を濡らし、壁面などを傷める原因になります。
- やけどおよび故障や火災の原因になることがあります。

●**床や壁などに、水などをこぼしてもよい場所に据え付けること**
使用中に本機の扉に付着した水や、洗浄水などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合な場所では、防水処置などをしてください。

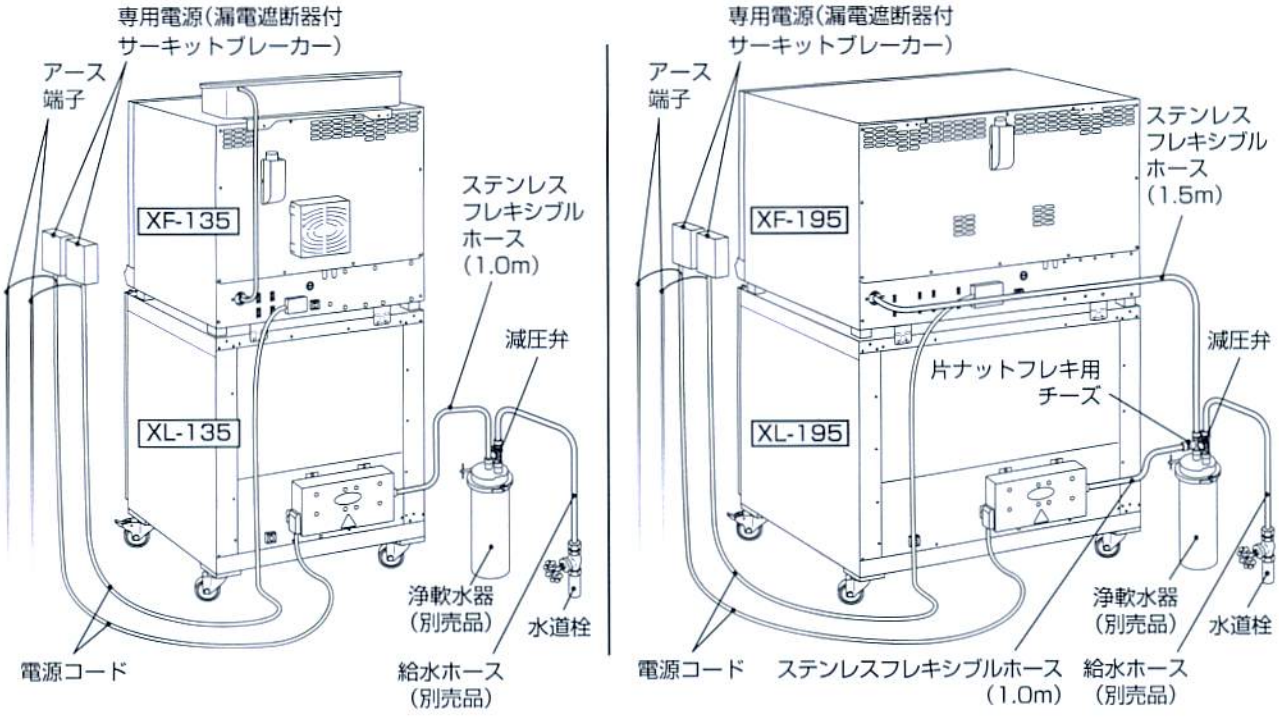
●**電源コードは、人が踏んだり、引っ掛けたりするような通路には出さないこと**
転倒してケガをする恐れがあり、電源コードの破損の原因にもなります。

●レイアウトを決める

据え付け作業をする前に、下図を参考にだいたいのレイアウトを決めてください。

●ベーカリーオーブン「XF-195」、ホイロ庫「XL-135/XL-195」を設置する場合は、浄軟水器(別売品)、水道栓の設備が必要です。

※後面側から見たイメージ図（例）



●安全のため、フライヤー、グリルなど発熱する機械の熱源の近くには、据え付けないでください。
他の機器類とは、適当な距離を空け、必要な空気の循環を確保してください。
近くに熱源がある場合は、対策が必要ですので、お買い上げ店にご相談ください。

●本機の上方にファン付き排気フードを設備してください。(建築基準法や厨房設備技術基準に準拠してください。)
ファン付き排気フードは、機械の上方および、扉の開閉時の庫内蒸気や熱風を十分に排気できるように、機械の前面を囲むように設備してください。

専用電源を設備してください。

●ベーカリーオーブンとホイロ庫を使用する場合は、個々に漏電遮断器付サーキットブレーカーを設備してください。

●本機の据え付け場所に近いところで、操作しやすい位置に電源を設備してください。
(上図参照)

●本機はコンセントを使用せずに、専用の漏電遮断器付きサーキットブレーカーに直接接続してください。

●アース工事をおこない、確実にアースを接続してください。

●アース工事は、専門技術者による工事(D種接地工事)が必要です。電気工事店に工事を依頼してください。

水道栓を用意してください(XF-195、ホイロ庫)。

ベーカリーオーブン「XF-195」および、ホイロ庫「XL-135/XL-195」には、水道栓が必要です。
ベーカリーオーブン「XF-135」は、給水が貯水タンク方式ですので水道栓は必要ありません。

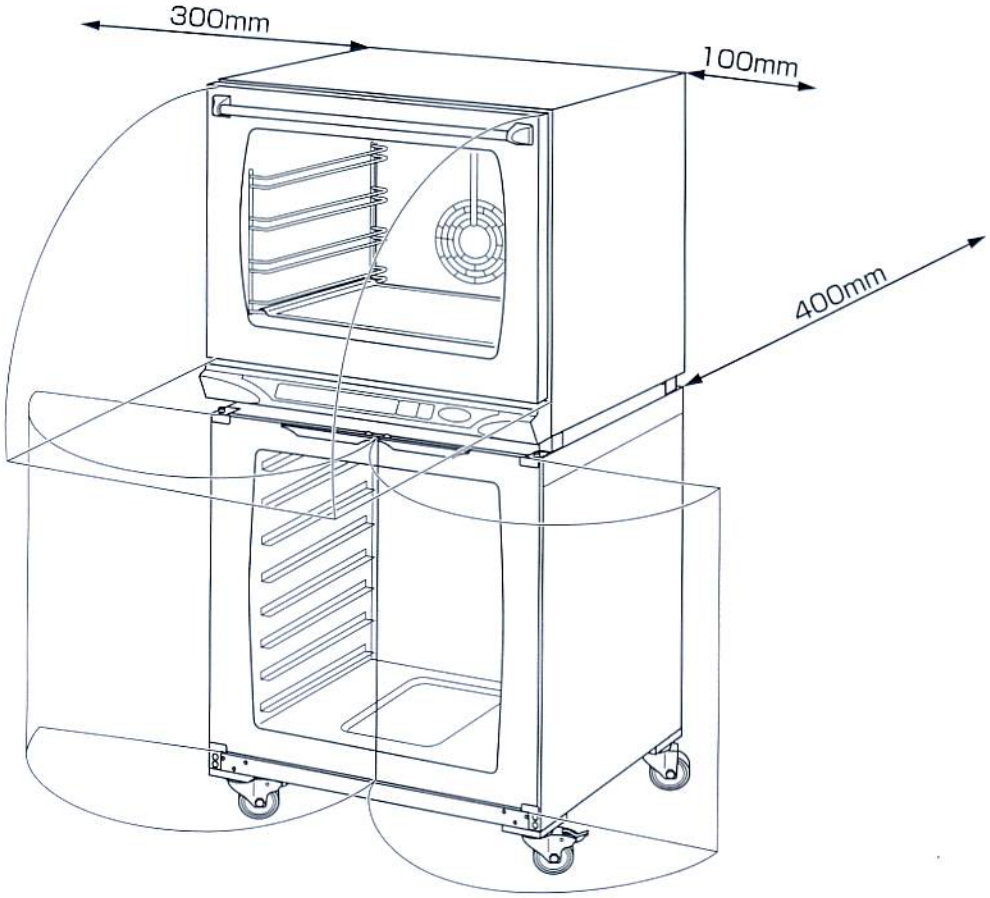
- ステンレスフレキシブルホースが取り付けられるように、コックの先に「G1/2オスネジ」付きの水道栓を用意してください。
- 水道栓の元コックは開閉が容易にできる場所に設備してください。
  ※水漏れ事故防止のため、毎日の作業終了後は、水道栓を閉めてください。
- 水道圧力は、流れている状態で0.1 ～ 0.74MPaの範囲内の圧力が必要です。
  ※水道圧力が0.1MPa未満のときは、機械の調整を必要としますので、お買い上げ店にご連絡ください。

本機を据え付ける台を用意してください。

- 水平で丈夫なカウンター、または据付台などを用意してください。
  ※専用設置台(オプション)を購入されている場合は、専用設置台の用意をしてください。
  ※ホイロ庫を購入されている場合は、ホイロ庫の用意をしてください。

●据え付けスペースを確保する

- ベーカリーオーブンのキー操作、およびベーカリーオーブンやホイロ庫の扉の開閉、食材の出し入れ作業に支障がないよう、十分なスペースを確保してください。
- 機械の後面(電気部品側)は隣接面から400mm以上離してください、左右は100mm以上(ただし人が後面に回りこむ際のスペースとして左右どちらかを300mm以上)離してください。
- ホイロ庫の使用で機械を移動させることができる場合は、後面は100mm以上、左右は100mm以上離してください。



据付け

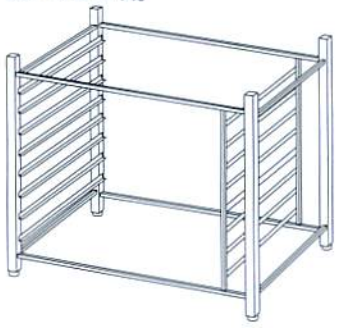
●専用設置台の設置

【オプション】

1 設置場所に移動させてレベル調整をおこなってください。

XF-135 用

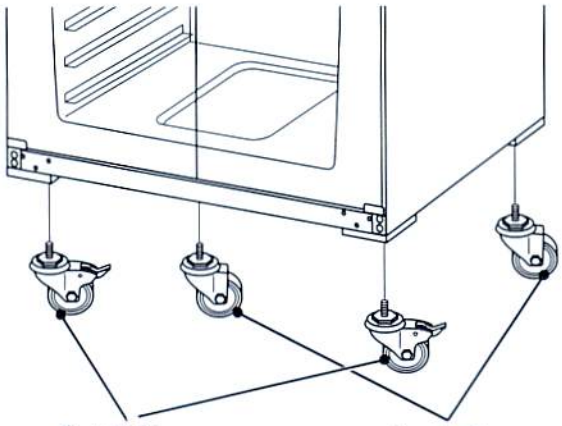
XF-195 用



同梱の組立て手順書を参照して組立てをおこなってください。

●ホイロ庫の設置

1 キャスターを取り付けてください。



キャスター
（前：ストッパー付き）

キャスター
（後：ストッパー無し）

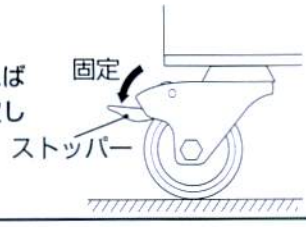
お願い

《キャスター取り付けの注意》

ストッパーの付いているキャスター 2個が前になるように取り付けてください。

ホイロ庫を持ち上げて、底面にある取り付け位置(4箇所)にキャスターを取り付けてください。

設置場所が決まればキャスターを固定してください。

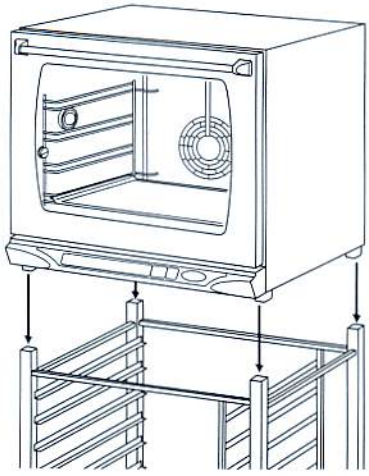


2 設置場所に移動させ、ストッパーを押し下げてキャスターを固定してください。

●ベーカリーオーブンの設置

次のように固定してください。

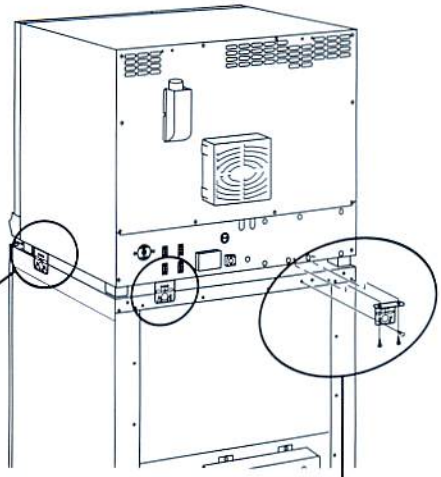
専用設置台の上に設置する場合



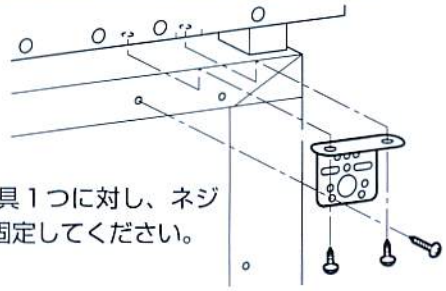
上図のように、専用設置台の柱にベーカリーオーブンの脚をはめ込んでください。

ホイロ庫の上に設置する場合

お願い
ホイロ庫の左右側面に、2箇所ずつ穴があるタイプのみ、この箇所にも付属の固定金具を取付けてください。



上図のように、ベーカリーオーブンとホイロ庫を固定金具でネジ止めしてください。
後面を2個の固定金具で固定してください。



固定金具1つに対し、ネジ3本で固定してください。

配管

●配管用付属品を確認する

本機には、据え付け用の配管用付属品があります。
配管の接続作業を始める前に、配管用付属品が揃っているかを確認してください。不足している場合は、お買い上げ店にご連絡ください。

XF-135配管用付属品

- ●貯水タンク……1個
- ●給水チューブ(おもり、ストレーナー付)・1本

XF-195配管用付属品

- ●減圧弁……1個
- ●ニップル……1個
- ●ステンレスフレキシブルホース
  (給水用 1.0m)……1本

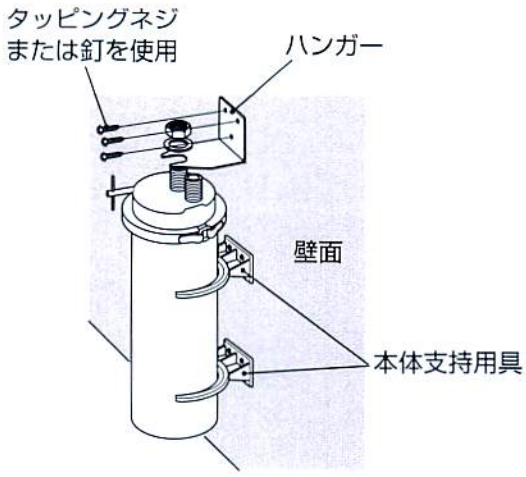
別売品(XF-195/XL-135)

- ●浄軟水器……1式
- ●ステンレスフレキシブルホース
  (一次側給水用 1.0m)……1本

●給水用の各配管を接続する(XF-135を除く)

XF-135の給水用配管については、→42ページ「XF-135の配管」を参照してください。

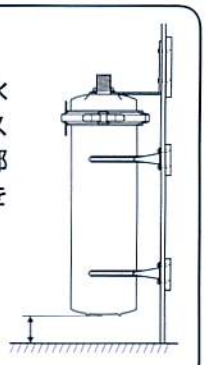
1 浄軟水器を取り付けてください。



お願い

《浄軟水器の取り付けにあたって》

浄軟水器を取り付けるときは、浄軟水器カートリッジの交換やメンテナンスを考慮し、浄軟水器カートリッジ下部より100mm以上の空きスペースを確保してください。



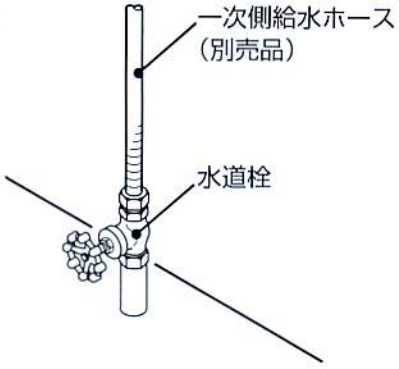
浄軟水器のハンガーおよび、浄軟水器の本体支持用具を本機近くの壁、または据付け台の壁面に、タッピングネジまたは釘等で取り付けてください。

※浄軟水器は専用設置台(【オプション】)には取り付けることができません。

※浄軟水器の取り付けは、縦向き・横向きのどちらでも可能です。

※浄軟水器の詳細については、浄軟水器に付属の取扱説明書をお読みください。

2 水道栓に給水ホースを接続してください。



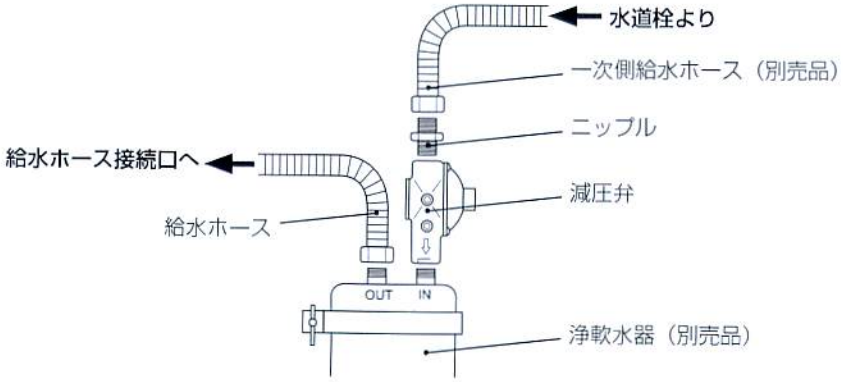
お願い

《水道栓の確認》

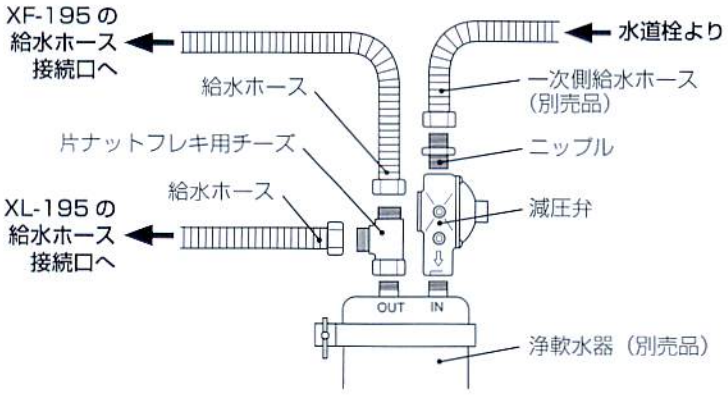
水道栓を開き、水をしばらく流して水や汚れや異物が無いことを確認してください。
特に、新設の水道栓や長い間使用していない水道栓を使用する場合は、必ず確認してください。

3 浄軟水器に給水ホースを接続してください。

XF-195(ベーカリーオーブンのみ)または、XL-135(ホイロ庫)の場合



XF-195とXL-195の組み合わせの場合



お願い

《浄軟水器の正常な活性炭素形成とエアー抜きについて》

給水ホース(XF-195用/XL-195用共)のもう一方の端を機械に接続する前に、排水孔または排水溝へ差し込んだ後、水道栓を全開の状態で約4分間放水してください。最初、白濁または、薄灰色の水が出ることがありますが、活性炭撹拌と気泡によるもので異常ではありません。
透明な水が出るまで放水を続けてください。

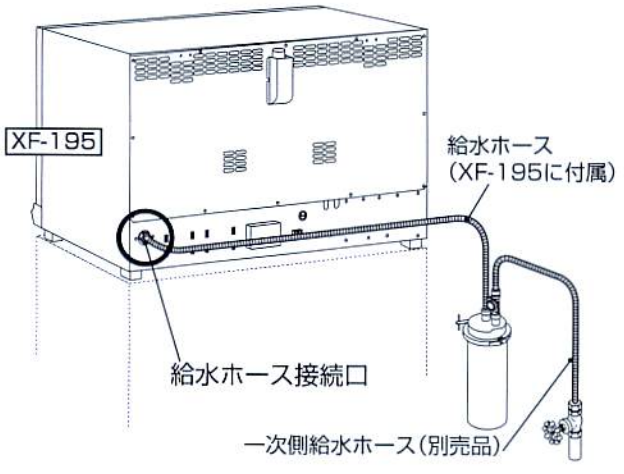
※エアー抜きが不完全な場合、本器内部の電磁弁の開閉動作の障害になりますので、必ずおこなってください

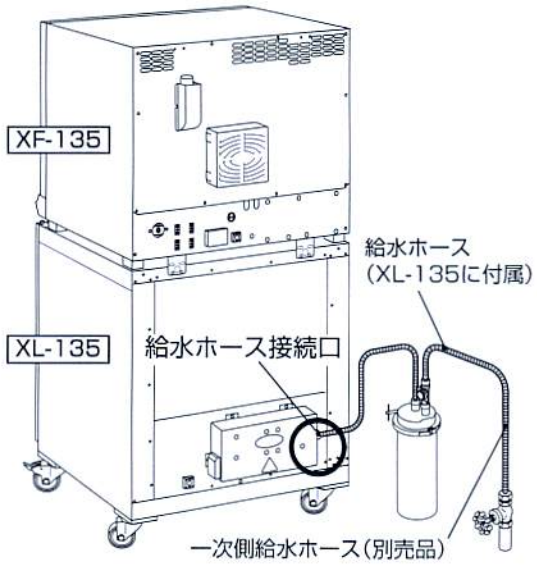
4 ベーカリーオーブンまたはホイロ庫に給水ホースを接続してください。

お願い

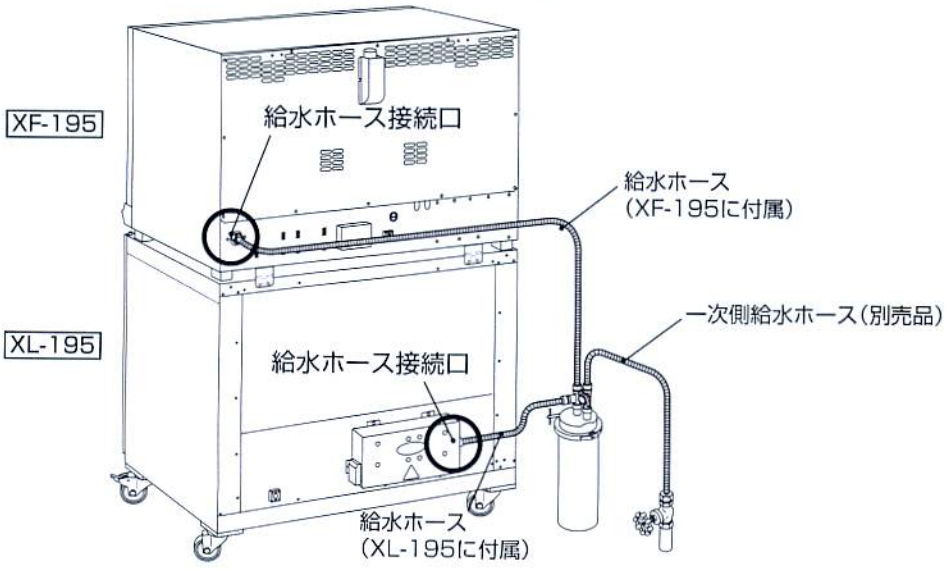
配管作業時は、各接続部に忘れずにパッキンを取り付けてください。

XF-195(ベーカリーオーブンのみ)または、XL-135(ホイロ庫)の場合





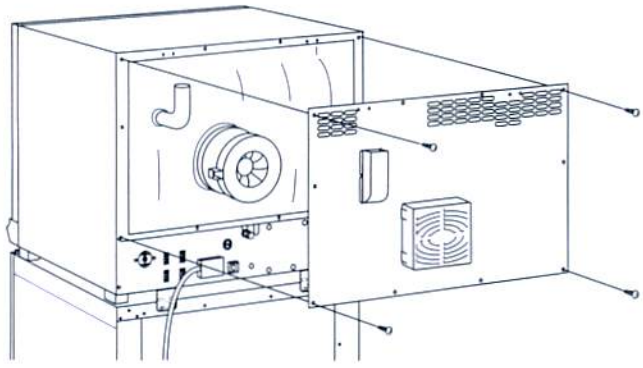
XF-195とXL-195の組み合わせの場合



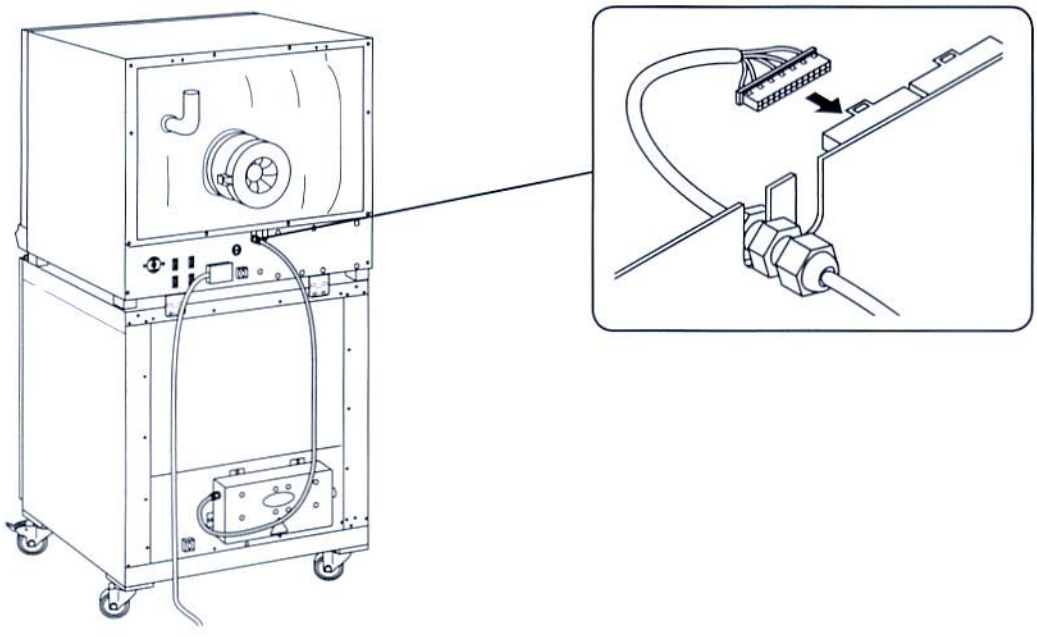
電気系統の配線

●ホイロ庫のコントロールケーブルを接続する

1 ベーカリーオーブンの後面カバーを開けてください。



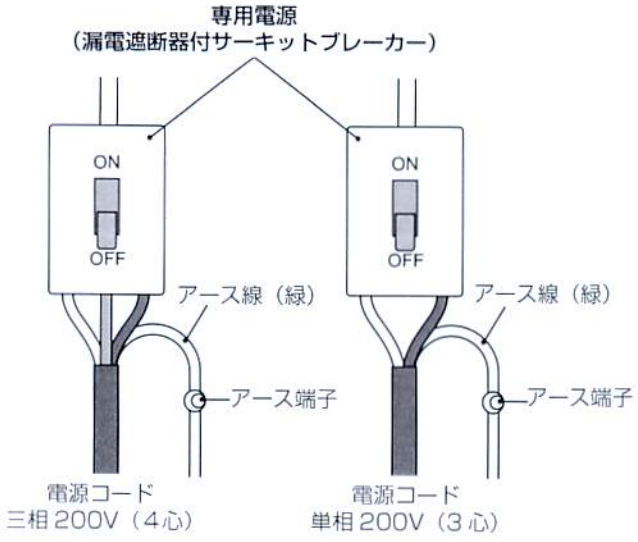
2 下図のようにホイロ庫のコネクターをベーカリーオーブンの基板へ接続してください。



3 ベーカリーオーブンの後面カバーを閉じてください。

●電源・アースを接続する

1 電源コードを本機専用電源に接続してください。



XF-195

XF-135
XL-135
XL-195

お願い

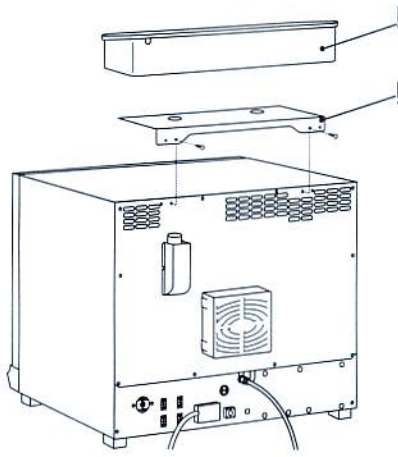
《電源コードを接続するにあたって》
電源コードを本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください。

2 アース線をアース端子に接続してください。

XF-135の配管

XF-135は、貯水タンクから給水します。

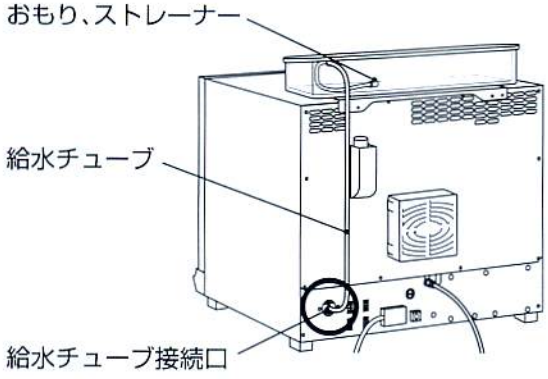
1 貯水タンクを取り付けてください。



貯水タンク取付金具を2個のねじで、本機に固定してください。

貯水タンクは、貯水タンク取付金具の2つの穴に貯水タンク底の凸部をはめ込んで固定してください。

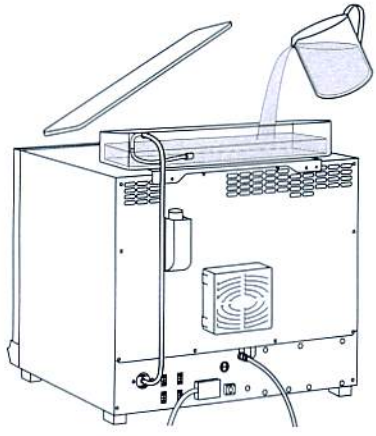
2 給水チューブを接続してください。



給水チューブは、貯水タンクにおもりのついた方を入れ、もう一方をベーカリーオーブンの給水チューブ接続口に接続してください。

貯水タンクへの水の補給

3 貯水タンクに水を入れてください。



貯水タンクには、最大6.5L入ります。
貯水タンクの水が少なく(2L以下に)なったら、補給してください。

動作確認

据付け工事が終了したら、本機が正常に動作するか確認してください。

●ベーカリーオーブンの動作確認

1 動作を設定してください。

「基本的な操作」（10ページ）に従って、次の動作を設定してください。

ステップ1
時間設定：4分
温度設定：100℃
湿度設定：90

ステップ2
時間設定：3分
温度設定：150℃
湿度設定：90

2 焼成を開始し、動作を確認してください。

確認事項は次のとおりです。

- 庫内ファンが回っているか？
- 庫内に加湿されているか？
- 庫内温度が上昇しているか？
- 本体背面の給水接続部に水漏れがないか？
- 庫内からスチームが逃げていくか？

上記の動作に問題がなければ、ベーカリーオーブンの動作確認は完了です。
動作に問題があれば、配管、または電源コードが正しく接続されているかを確認し、誤った接続部分があれば直してください。

お願い

《配管、または電源コードの接続をやり直すとき》
配管、または電源コードの接続をやり直すときは、本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）を「OFF（切）」にし、水道栓を閉めてからおこなってください。

配管、および電源コードが正しく接続されているにもかかわらず、動作が正常におこなわれない場合は、本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）を『OFF（切）』にし、水道栓を閉めてから（XF-195の場合）、お買い上げ店に連絡してください。

3 ベーカリーオーブンの動作確認は完了です。

本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）を『OFF（切）』にしてください。

●ホイロ庫の動作確認

1 動作を設定してください。

「ホイロ庫の操作」(22ページ)に従って、次の動作を設定してください。

時間設定：4分
温度設定：50℃

2 発酵を開始し、動作を確認してください。

確認事項は次のとおりです。

●庫内温度が上昇しているか？
●本体背面の給水接続部に水漏れがないか？

上記の動作に問題がなければ、ホイロ庫の動作確認は完了です。
動作に問題があれば、配管、または電源コードが正しく接続されているかを確認し、誤った接続部分があれば直してください。

お願い

《配管、または電源コードの接続をやり直すとき》
配管、または電源コードの接続をやり直すときは、本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を『OFF(切)』にし、水道栓を閉めてからおこなってください。

配管、および電源コードが正しく接続されているにもかかわらず、動作が正常におこなわれない場合は、本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を『OFF(切)』にし、水道栓を閉めてから、お買い上げ店に連絡してください。

3 ホイロ庫の動作確認は完了です。

本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を『OFF(切)』にしてください。

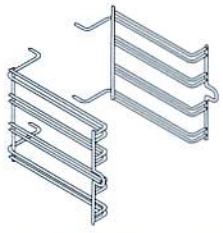
付属品

本機をはじめて使うに当たって、下記の付属品が揃っているか、ご確認ください。
付属品が足りないときは、お買い上げ店にご連絡ください。

●ベーカリーオーブンの付属品

XF-135付属品

●天板棚 ……1組
(XF-135用)



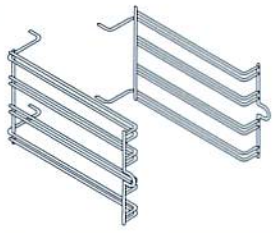
●オーブンクリーナー500mL(中性洗剤)…1個
●取扱説明書(本書、保証書付) ……1冊
(据付け手順説明付)

XF-135配管用付属品

●貯水タンク ……1個
●貯水タンク取付金具 ……1個
●給水チューブ(おもり、ストレーナー付) …1本

XF-195付属品

●天板棚 ……1組
(XF-195用)



●オーブンクリーナー500mL(中性洗剤)…1個
●取扱説明書(本書、保証書付) ……1冊
(据付け手順説明付)
●風量調節板 ……2枚

庫内の風量を弱めたいとき、
ファンカバーに引っ掛けて
使用してください。

XF-195配管用付属品

●減圧弁(200KPa) ……1個

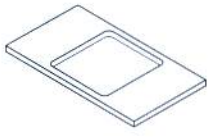
●ニップル ……1個

●ステンレスフレキシブルホース ……1本
(給水用 1.0m)

●ホイロ庫の付属品

XL-135付属品

●給水トレイ ……1枚



●固定金具(ベーカリーオーブンの固定用)…4個
●オーブンクリーナー500mL(中性洗剤) ……1個

●キャスター ……4個
(ストッパー付き ……2個
ストッパー無し ……2個)

XL-135配管用付属品

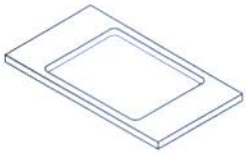
●減圧弁(200KPa)……1個

●ニップル(1/2)……1個

●ステンレスフレキシブルホース……1本
(給水用 1.0m)

XL-195付属品

●給水トレイ……1枚



●固定金具(ベーカリーオーブンの固定用)…4個
●オーブンクリーナー500mL(中性洗剤)……1個
●キャスター……4個
(ストッパー付き……2個
ストッパー無し……2個)

XL-195配管用付属品

●片ナットフレキ用チーズ……1個

●ステンレスフレキシブルホース……1本
(給水用 1.0m)

オプション

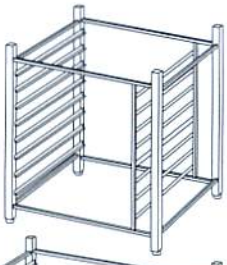
●天板

●天板……各種
サイズ(XL-135用 … 460×335mm
XL-195用 … 600×400mm)

●専用設置台

●専用設置台……1式

・XF-135用
幅　：598mm
奥行：518mm
高さ：782mm



・XF-195用
幅　：798mm
奥行：599mm
高さ：782mm

別売品 (XF-195、XL-135)

●浄軟水器……1式

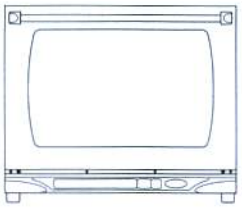
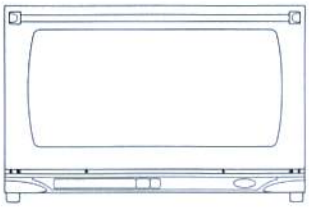
・ヘッド
・カートリッジ

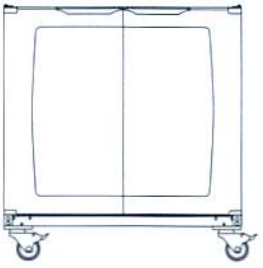
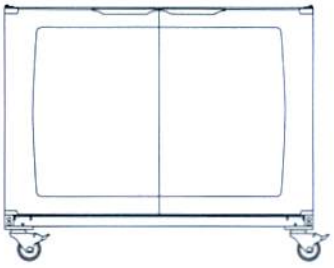
●ステンレスフレキシブルホース……1本
(一次側給水用 1.0m)

お願い

《浄軟水器について》
●浄軟水器は、当社推奨(検査結果に基づく)の製品のご使用をおすすめします。
●浄軟水器は、水道水に含まれるマグネシウムやカルシウムなどの量を減らし、庫内のスケール付着を抑えます。
●スケール付着が多いと、本機の性能を低下させたり、庫内の構造部を腐食させ、本機の寿命を縮める原因になります。

仕様

品名	ベーカリーオーブン	
型式	XF-135	XF-195
製品(正面図)		
外形寸法	幅600・奥行625・高さ510㎜ (突起物を含む奥行 695㎜) (扉開時奥行 1045㎜)	幅800・奥行745・高さ510㎜ (突起物を含む奥行815㎜) (扉開時奥行 1165㎜)
主な材質	ステンレス	
電源	単相200V 50/60Hz	三相200V 50/60Hz(単相可)
電流	17A	32A(34A)
消費電力	3.4kW	6.8kW
電気容量	3.7kVA	12kVA
ブレーカー容量	20A	40A
ファンモーター	200W	200W×2
ヒーター	2.9kW	2.9kW×2
安全装置	温度過昇防止装置	
必要水道圧力	−	0.1 ～ 0.74MPa(流水時)
給水接続口	内径φ6 給水チューブ	G 1/2
給水方式	貯水式	水道直結式
収納天板数	4枚	
天板サイズ	幅460・奥行335㎜	幅600・奥行400㎜
質量	31㎏	48.7㎏
庫内寸法	幅490・奥行385・高さ330㎜	幅690・奥行465・高さ330㎜
電源コード(長さ・径)	2.5m・3心 1.25㎟	2.5m・4心 3.5㎟ (2.5m・3心 5.5㎟)

品名	ホイロ庫	
型式	XL-135	XL-195
製品(正面図)		
外形寸法	幅600・奥行635・高さ850㎜ (突起物を含む 奥行650㎜ 高さ870㎜) (扉開時奥行 925㎜)	幅800・奥行715・高さ850㎜ (突起物を含む 奥行735㎜ 高さ855㎜) (扉開時奥行 1105㎜)
主な材質	ステンレス	
電源	単相200V 50/60Hz	
電流	5A	
消費電力	1kW	
電気容量	1kVA	
ブレーカー容量	10A	
ファンモーター	−	
ヒーター	1kW	
安全装置	−	
必要水道圧力	0.1 ～ 0.74MPa(流水時)	
給水接続口	G 1/2	
給水方式	水道直結式	
収納天板数	8枚	
天板サイズ	幅460・奥行335㎜	幅600・奥行400㎜
質量	22kg	37kg
庫内寸法	幅480・奥行525・高さ610㎜	幅610・奥行605・高さ610㎜
電源コード(長さ・径)	2.5m・3心 1.25㎟	

ホイロ庫はベーカリーオーブン(XF-135 / XF-195)に接続して使用する機械です。
ホイロ庫単体では使用できません。
ホイロ庫の操作は、ベーカリーオーブンの操作パネル上でおこないます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京本社：〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目8番14号 Tel.03(3436)9470
大阪本社：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所
札　幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651
仙　台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711
名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891
広　島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855
福　岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

サービスステーション
盛　岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390
金　沢：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810
四　国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161
鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281
東日本修理センター：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ http://www.fmi.co.jp/

PD